

木製手すり 取扱説明書

2023年3月版







填 目	ページ
①. 部材索引	2
2. 安全に関する注意	4
3. 耐荷重について	6
4. 手すりをご使用になる方へ	6
5. 屋内手すり部材・取付指定寸法	7
6. 取付不可事例	15
7. 手すり取付高さの目安	18
8. 部材表·取付方法	19
9. 丸棒用ビスの取付方法	67
10. お手入れ方法	68

- お買い上げありがとうございます -

施工店様

施工前にこの説明書を必ずよくお読みになり正しく施工してください。

ご利用者様

使用前に「4.手すりをご使用になる方へ」を必ずよくお読みになり 正しく使用してください。

矢崎化工株式会社

1. 部材索引

φ 35 手すり丸棒





φ 32 手すり丸棒





φ 35/ φ 32 共通部材























φ 35 エンドブラケット

































ø 32 エンドブラケット





















φ 35 受けブラケット









ø 32 受けブラケット











φ 35 中間用ブラケット

















φ 32 中間用ブラケット



φ 35 エルボ / チーズ / ジョイント





















φ 32 エルボ / チーズ / ジョイント







φ 35 スタンド







φ 35 機能ブラケット / エンドベース















φ 35 キャップ / つなぎ









φ 32 キャップ / つなぎ









スペーサー



2. 安全に関するご注意

!安全に関する表示

※いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

▲警告

誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる 可能性がある」内容を警告しています。 \bigcirc

してはいけない内容です。

△ 注意

誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。

ので守る

必ず守っていただく内容です。

施工業者様へ

● 全般に関する注意

▲ 警告

- ●歩行補助、動作補助手すり以外の用途・目的では施工しない。 ガードレールや転落防止柵としての施工はできません。
- ●浴室や湿気の多い場所、屋外には施工しない。 製品を退色させたり、腐食や劣化をまねき破損するおそれがあります。

●火気のそばに施工しない。

手すりが変形・破損したり、火傷をするおそれがあります。

●下地のない石膏ボード・化粧板などの壁面には施工しない。

下地のない壁面へ施工する際は、必ず補強をしてから行ってください。

●不特定多数の人が一度に使用するような場所には施工しない。

手すりが破損するおそれがあります。

●弊社製品と他社製品との組み合わせによる製作物を作らない。

手すり丸棒の破損やケガの原因になります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。



●施工終了後、手すりのガタつきやネジのゆるみ・締忘れがないことを確認する。

● 手すり丸棒の切断に関する注意

⚠ 注意



●手すり丸棒は直線軸に対し、直角に切断する。

斜めに切断するとブラケット・ジョイントが接続できない場合があります。

0



●手すり丸棒の保管に関する注意

∧ 注意



●手すり丸棒は湿気や直射日光に当たる場所を避け、水平な場所で保管する。

● ブラケット・ジョイント取付けに関する注意

▲ 警告

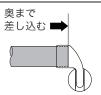


●ブラケット・ジョイントの改造や加工をしない。

事故やケガの原因になります。

●手すり丸棒はブラケット・ジョイントの奥まで 確実に差し込んで取り付ける。

手すり丸棒が抜け落ち、事故やケガの原因になるおそれがあります。



必ず守る

●手すり丸棒とブラケット・ジョイントの固定は、ビスまたは止めネジで確実に行う。 固定が不十分ですと手すりが外れるおそれがあります。

⚠ 注意



●取付指定寸法を超えて取り付けない。

手すりの揺れ、外れ、破損につながるおそれがあります。

●止めネジの締付けトルクは 3.92N・m{40kgf・cm} とする。

締め付けが不十分ですと手すりが外れるおそれがあります。 また、過度な締付けは破損の原因になります。

止めネジの締付け目安は、ブラケット・ジョイントの外周面と止めネジの頭が面一になるまでです。

●ボルトの締付けトルクは 7.84N・m{80kgf・cm} とする。 締付けが不十分ですと手すりが外れるおそれがあります。 ※ AA-35FEB を除く



●AA-35FEB のボルトの締付けトルクは 9.8N・m{100kgf・cm} とする。 締付けが不十分ですと手すりが外れるおそれがあります。

●角付け用アダプタの締付けトルクは 1.95N・m{20kgf・cm} とする。 締付けが不十分ですと手すりが外れるおそれがあります。 ※品番:AB-35LWC SET / AA-35FWC SET

●ブラケットを壁に取り付ける際は、適宜長さのあるビットを使用する。 ブラケットをキズつけるおそれがあります。



※ 退色について

◎ 直射日光に当たる場所に施工すると退色する場合があります。

※ 極上テネシスシリーズ 635 手すり部材との併用について

○ 本シリーズは弊社で販売する極上テネシスシリーズø35 手すり部材と組み合わせてご使用いただけます。

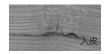
※ 木製品について

○ 天然木製の性質上、大きさや形の異なる節や筋が表面に現れます。

無垢材はもちろん、集成材についても製造工程における色調補正のための漂白作業を環境の配慮から行っておりません。 木の個性をお楽しみくださるようご了承ください。



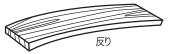








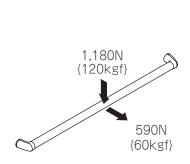
◎ 吸湿・乾燥により寸法の狂いや反り、割れが生じることがあります。 特に湿気の多い梅雨や空気の乾燥した冬は、こうした現象が起こりやすくなります。

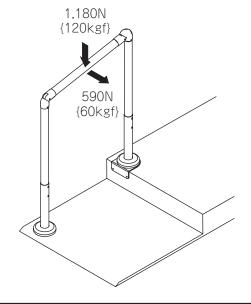


- ◎ 雨や結露で濡れた場合は、すぐにふき取ってください。 変形やカビ、腐りの原因になることがあります。
- ◎ 保管は、なるべく乾燥した湿度・温度変化の少ない直射日光に当たらない場所としてください。
- ご購入後は長期保管をせず、早めにご使用ください。
- ◎ 車内に長時間放置しないでください。

3. 耐荷重について

● 取付上の注意を守り、正しく施工された場合の水平・鉛直方向の最大荷重は下記の通りです。



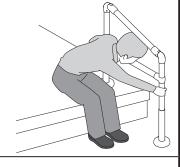


4. 手すりをご利用になる方へ

▲ 警告

●手すりに乗ったり、ぶら下がったりしない。 事故やケガをするおそれがあります。

●手すりと壁・床のすき間や、手すりのフレームとフレームの間に 頭や体、手・脚を入れない。





●濡れた手足で使用しない。

窒息や骨折のおそれがあります。

滑って転倒するおそれがあります。

●強い衝撃を加えない。

物をぶつけるなどすると、破損するおそれがあります。

●改造や加工をしない。

事故やケガをするおそれがあります。

●製品に異常を見つけた場合は使用を中止する。

手すりのガタつき、ネジ・ボルトのゆるみ、部品の破損などの異常を見つけた場合は直ちに使用を中止し、施工店へご連絡ください。

0

必ず守る

●取付工事は必ず工務店などの専門業者に依頼する。

誤った取り付け方などで破損やケガをするおそれがあります。 必ず専門業者に依頼をし、取付工事を行ってください。

- ●利用者の心身の状態により、介護者が付き添うなど安全には十分な配慮をする。 ケアマネジャーなど専門家に相談することをお勧めします。
- ●利用者の健康状態が変化した場合には、ケアマネジャーなど専門家に相談する。 無理な使用をすると、バランスを崩し転倒してケガをするおそれがあります。

企注意



●手すりに火気を近づけない。

手すりが変形・破損したり、火傷をするおそれがあります。

5. 屋内手すり部材・取付指定寸法



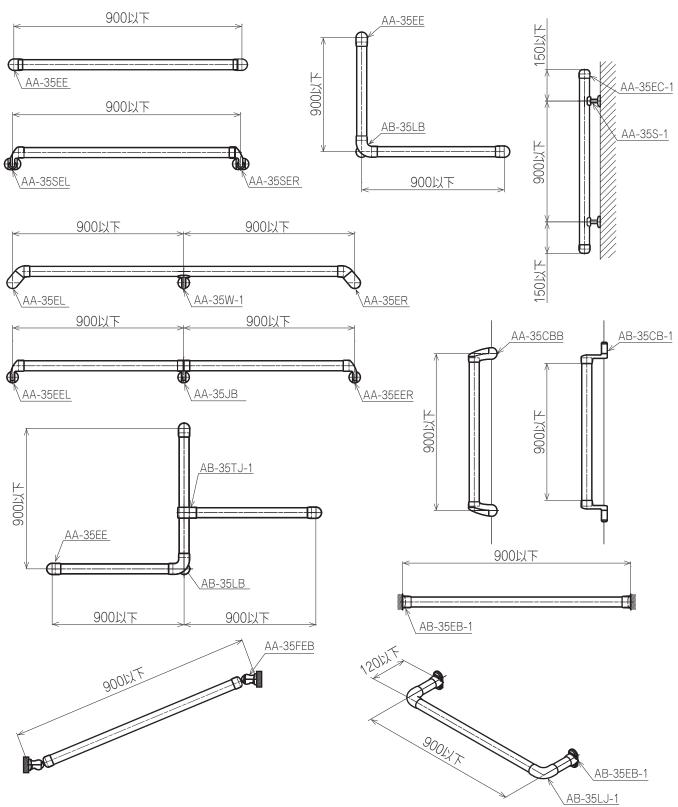
取付指定寸法

「 ϕ 32 変換アダプター」を使用した取付指定寸法は、丸棒の場合 **600mm 以下**になります。詳細は p.12 の「 ϕ 32 取付指定寸法」をご参照ください。 ※支柱には ϕ 35 木製手すり ディンプルタイプ(CZL)は使用できません。

(単位:mm)







φ35

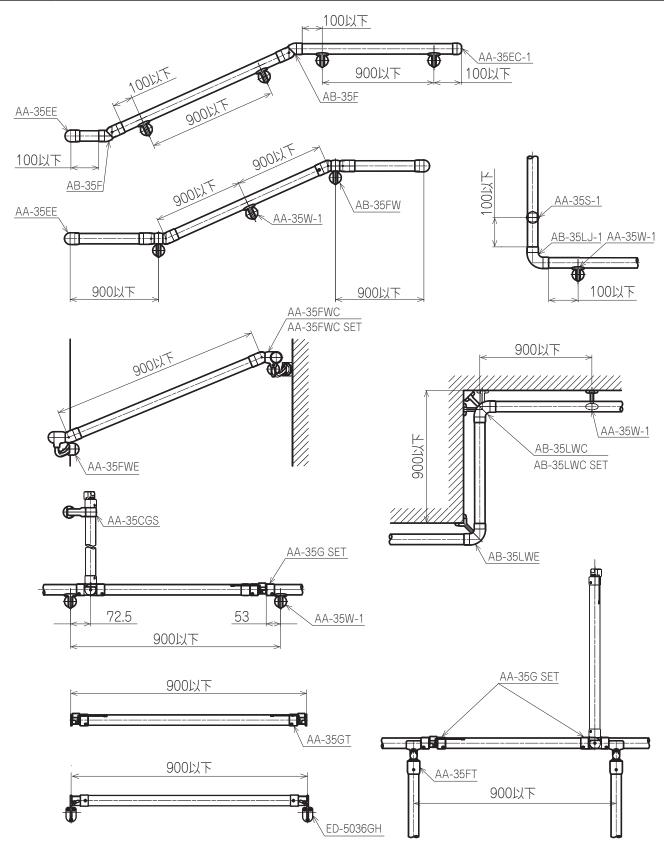
取付指定寸法

「 ϕ 32 変換アダプター」を使用した取付指定寸法は、丸棒の場合 **600mm 以下**になります。詳細は p.12 の「 ϕ 32 取付指定寸法」をご参照ください。 ※支柱には ϕ 35 木製手すり ディンプルタイプ(CZL)は使用できません。

(単位:mm)







ø35

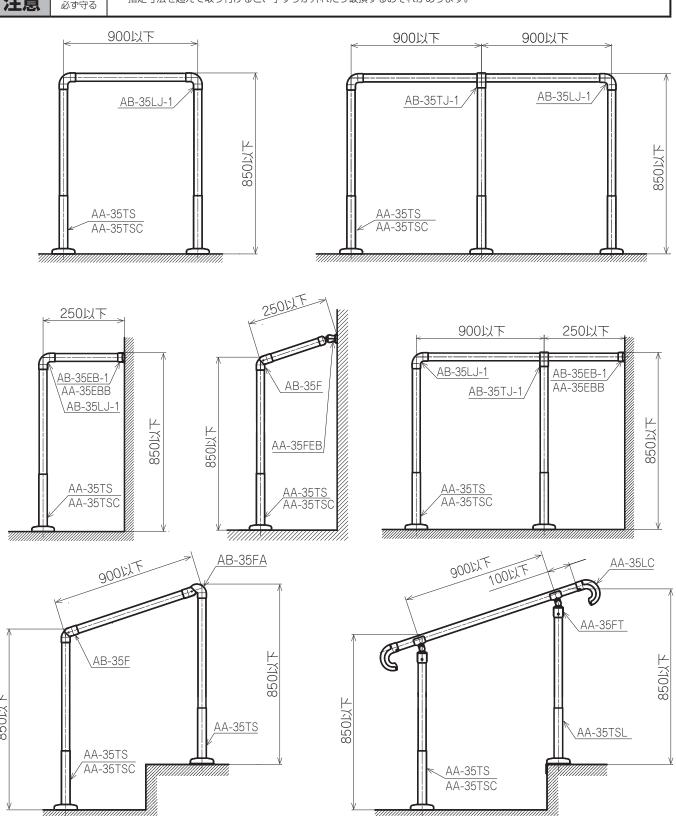
取付指定寸法

「 ϕ 32 変換アダプター」を使用した取付指定寸法は、丸棒の場合 **600mm 以下**になります。詳細は p.12 の「 ϕ 32 取付指定寸法」をご参照ください。 ※支柱には ϕ 35 木製手すり ディンプルタイプ(CZL)は使用できません。

(単位:mm)







ø35

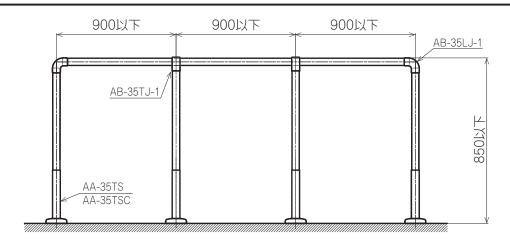
取付指定寸法

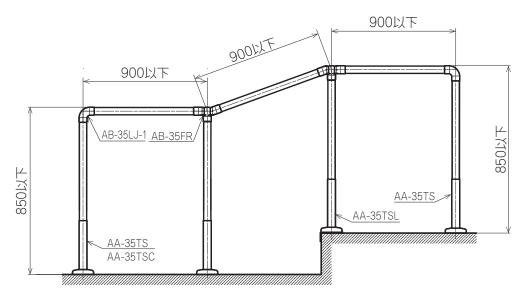
「 ϕ 32 変換アダプター」を使用した取付指定寸法は、丸棒の場合 **600mm 以下**になります。詳細は p.12 の「 ϕ 32 取付指定寸法」をご参照ください。 ※支柱には ϕ 35 木製手すり ディンプルタイプ(CZL)は使用できません。

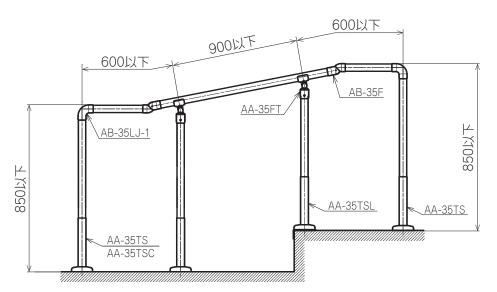
(単位:mm)











ø35

取付指定寸法

「 ϕ 32 変換アダプター」を使用した取付指定寸法は、丸棒の場合 **600mm 以下**になります。詳細は p.12 の「 ϕ 32 取付指定寸法」をご参照ください。 ※支柱には ϕ 35 木製手すり ディンプルタイプ(CZL)は使用できません。

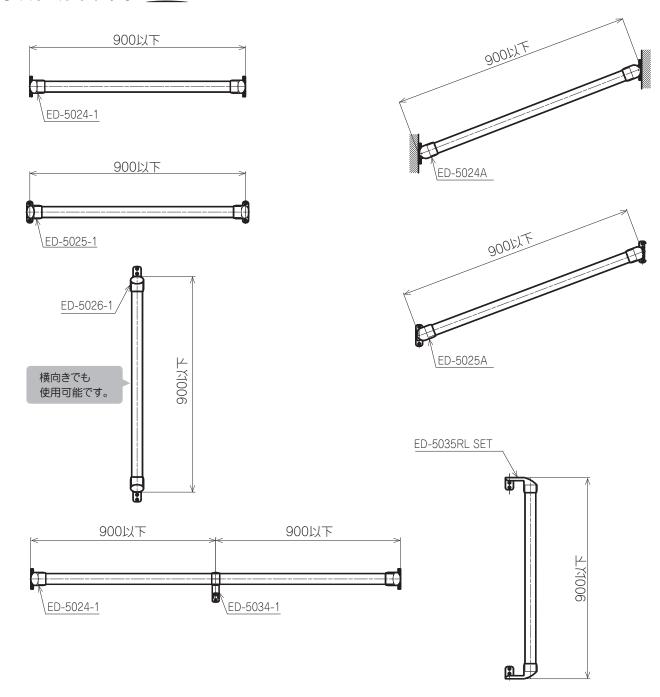
(単位:mm)





● 手すりのジョイントまたはブラケット取付位置の間隔は、必ず以下に示す寸法で取り付ける。 指定寸法を超えて取り付けると、手すりが外れたり破損するおそれがあります。

● **スリムブラケット** スリム

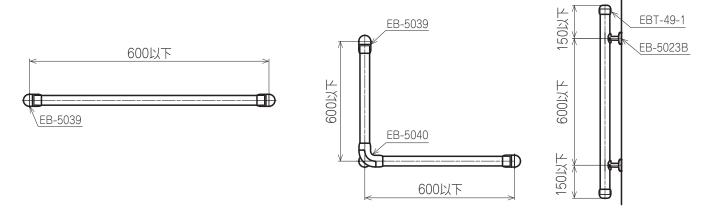


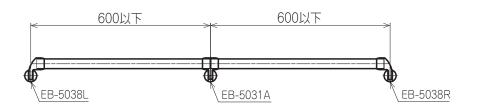


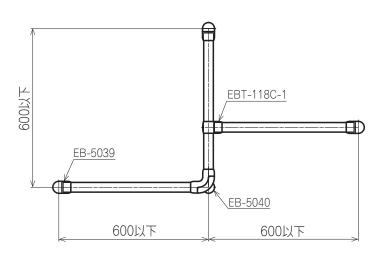
(単位:mm)

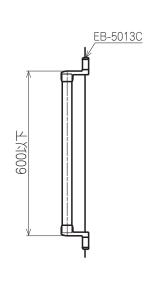








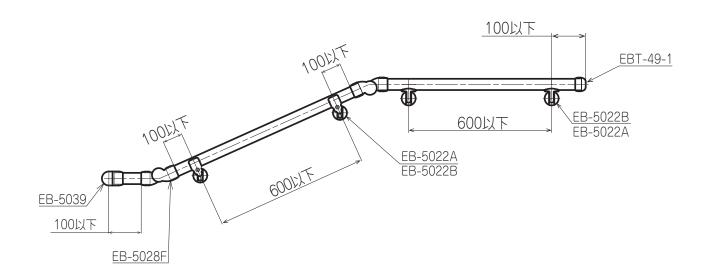


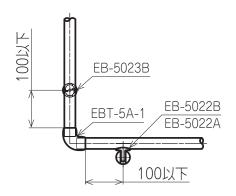


(単位:mm)











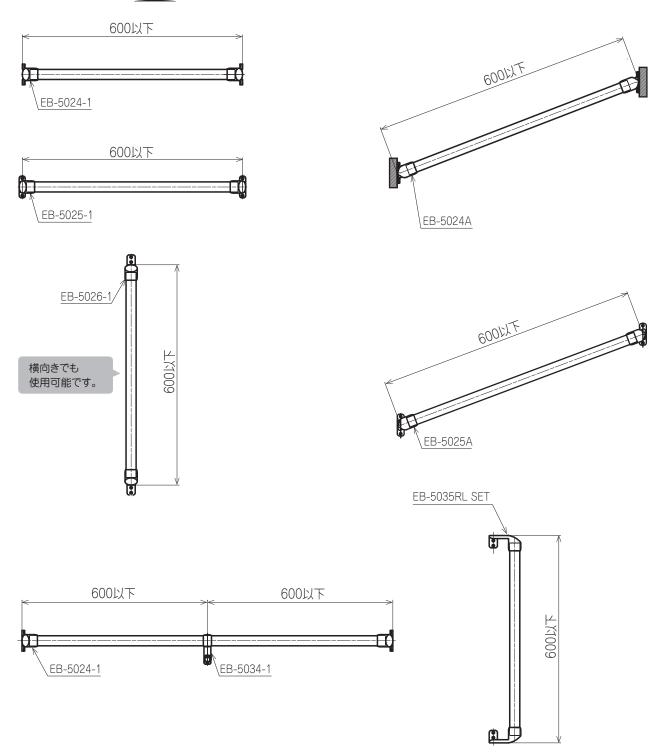
(単位:mm)



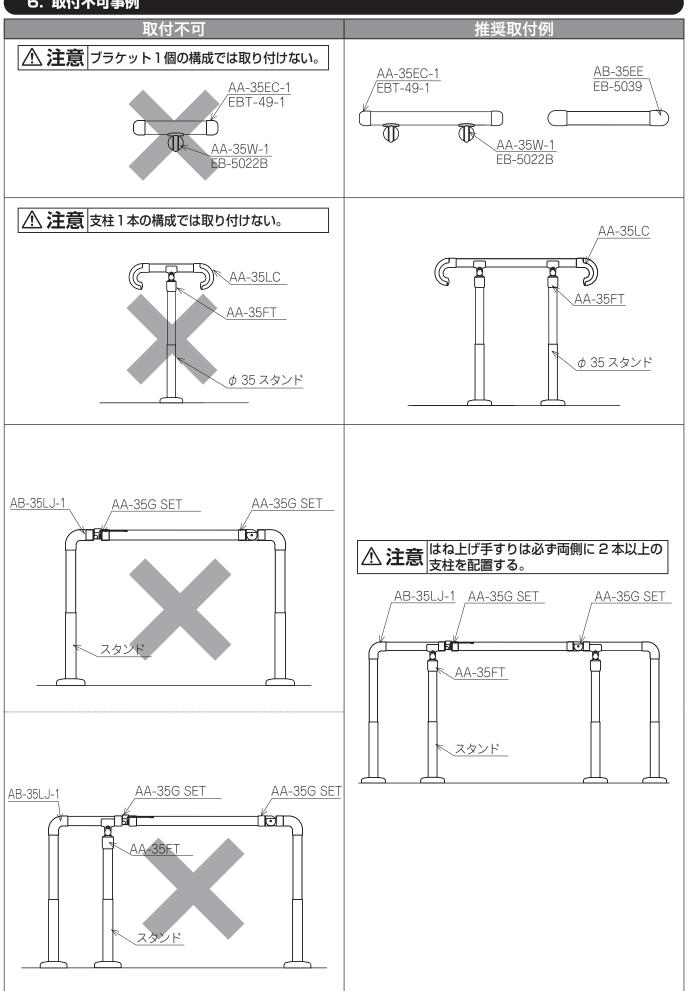


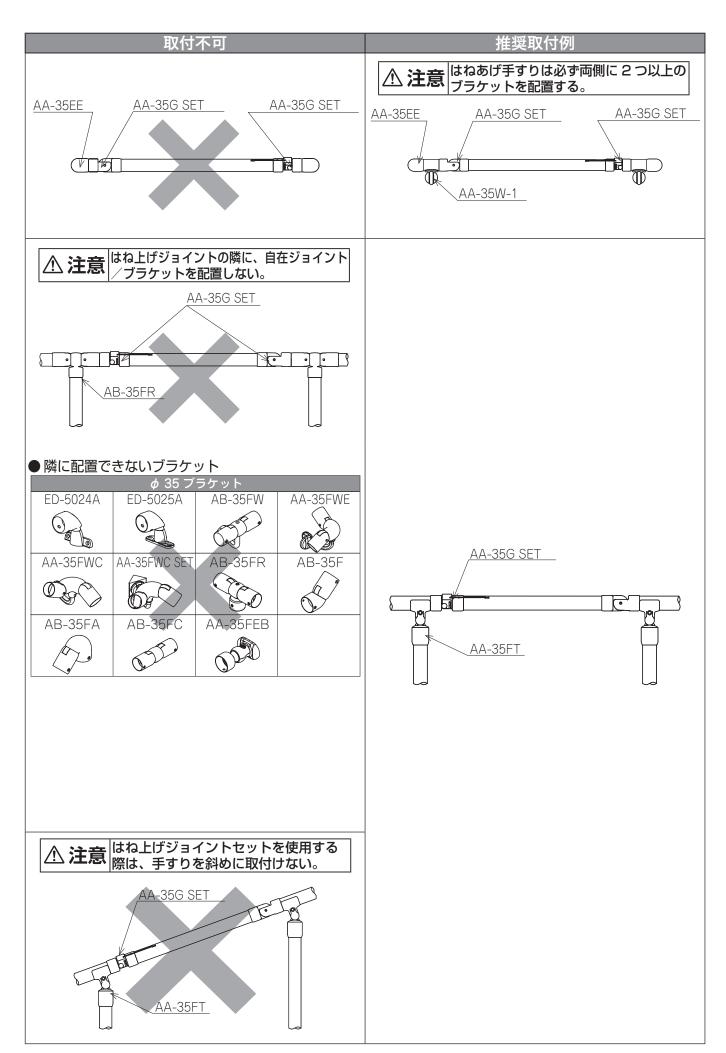
● 手すりのジョイントまたはブラケット取付位置の間隔は、必ず以下に示す寸法で取り付ける。 指定寸法を超えて取り付けると、手すりが外れたり破損するおそれがあります。

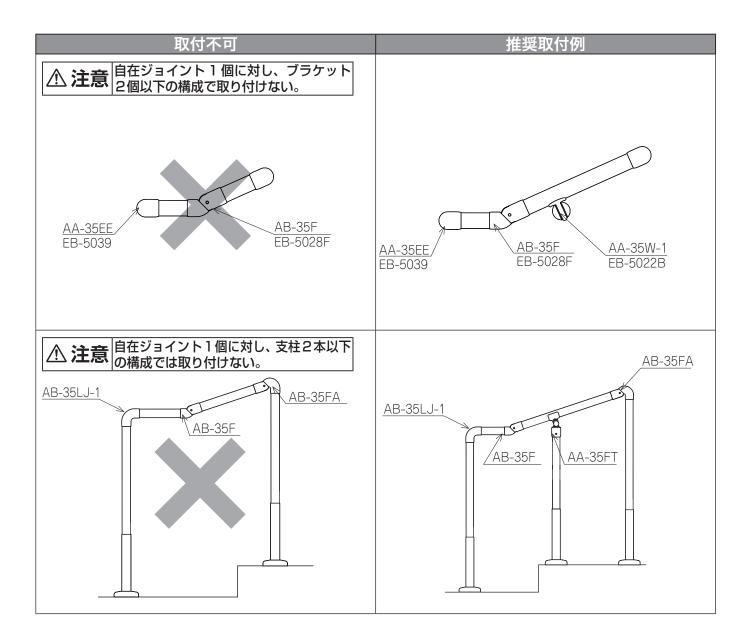
● **スリムブラケット** スリム



6. 取付不可事例







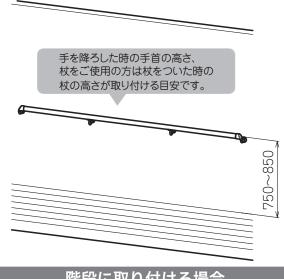
7. 手すり取付高さの目安

●下記寸法は、あくまで参考値です。

手すり取付位置は、ご使用になる方の体格や体力、障害の程度を考慮して決定してください。 ケアマネジャーなどの専門家と相談し、ご使用になる方の立ち会いのもと決定することをお勧めします。

廊下に取り付ける場合

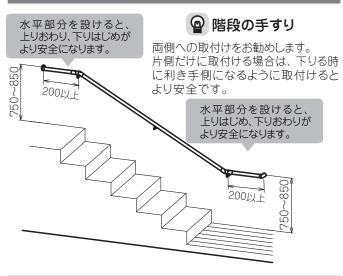
(単位:mm)

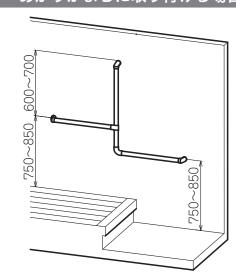




階段に取り付ける場合

あがりかまちに取り付ける場合





扉がある場所に取り付ける場合

トイレに取り付ける場合





8. 部材表・取付方法(木製手すり)

φ35 木製手すり	九棒	φ32 木製手すり	 丸棒
抗菌工口塗料	田番 CZA-2500 CZA-4000 カラー BR(ブラウン) LBR(ライトブラウン) 材質 ホワイトアッシュ無垢材質 量 1680g/2500mm 2680g/4000mm	抗菌工工资料	品番 CZE-4000 カラー BR(ブラウン) LBR(ライトブラウン) 材質 タモ集成材 質量 2520g
<u>φ35</u>	2500·4000	<u>φ32</u>	4000
		⚠ 注意 支柱として	使用しない。
φ 35 木製手すり (抗 園 17.3厘利 1.3厘利 1.3厘列 1.3	ディンプルタイプ品 番 CZL-4000カラーBR(ブラウン)LBR(ライトブラウン)材 質 タモ集成材質 量 2770g	φ 32 木製手すり	ディンプルタイプ 品 番 CZM-4000 カラー BR(ブラウン) LBR(ライトブラウン) 材 質 タモ集成材 質 量 2340g
φ35	4000	<u>φ</u> 32	4000
⚠ 注意 支柱として	使用しない。	⚠ 注意 支柱として	使用しない。

< 木製手すり ディンプルタイプ取付上の注意 >

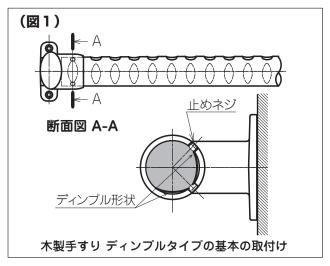
木製手すり ディンプルタイプ (CZL-4000 / CZM-4000) に止めネジ固定のブラケットを取り付ける時には、以下の内容を確認してから作業をしてください。 手すりの揺れ、外れ、破損につながるおそれがあります。

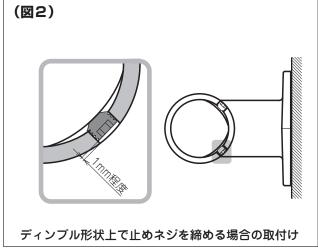
木製手すり ディンプルタイプの基本の取付け

図1を参考に、ディンプル形状以外のところで止めネジを締めるようにしてください。

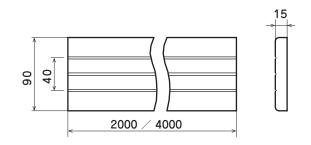
ディンプル形状上で止めネジを締める場合の取付け

ディンプル形状の上で止めネジを締める場合(図2)、止めネジの先端がとがっているため、締めすぎると丸棒にめり込み、空回りしますので締めすぎないようにしてください。止めネジの頭が1mm程度ブラケット・ジョイント表面より引っ込むところが目安になります。できるだけディンプル形状にかからないところで止めネジを止められるように丸棒の長さを調節してください。





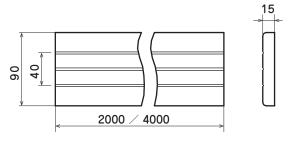
8. 部材表・取付方法 (φ 35/ φ 32 手すり共通部材)



木製取付けベース 90

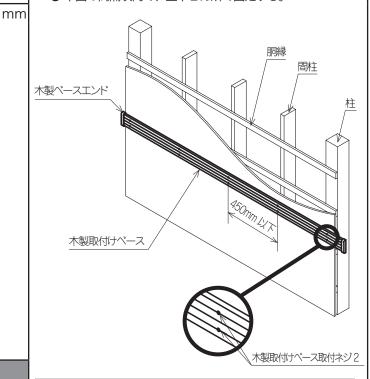


材	質	ユーカリ LVL 材	
質	量	1730g ※ 2000mm の質量	
			mm
		15	



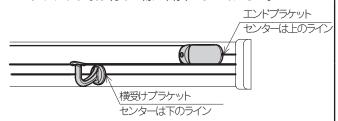
取付方法

- ブラケット取付位置に下地材がない場合は、木製取付け ベースを構造材(柱・間柱)に固定する。
- 固定には、長さ 50 mm以上のビスを使用する。 ※別売の木製取付けベース取付ネジ2(CZB-NE2) をご使用に なると、ネジの頭を樹脂製カバーで隠すことができます。
- 下図の間隔以内で、上下2カ所で固定する。



木製取付けベースへのブラケット取付けのポイント

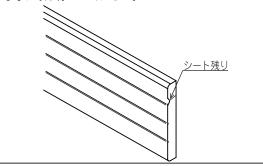
●木製取付けベースの表面には、3本のラインが入っています。 ブラケット取り付けの際の目安としてください。

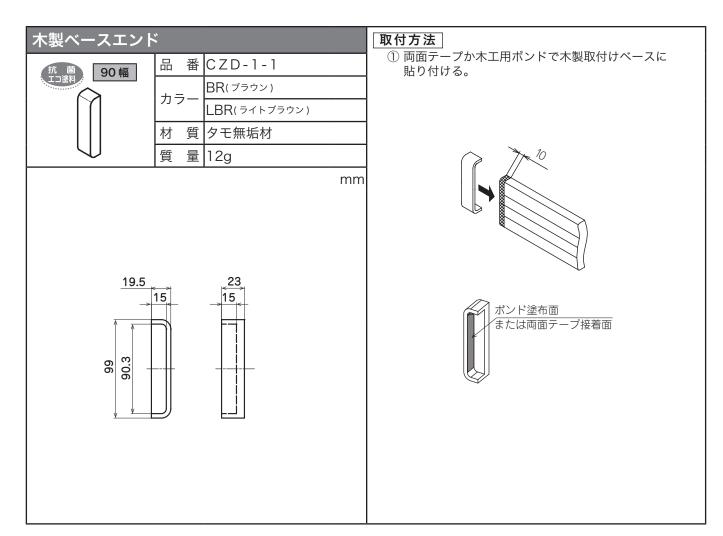


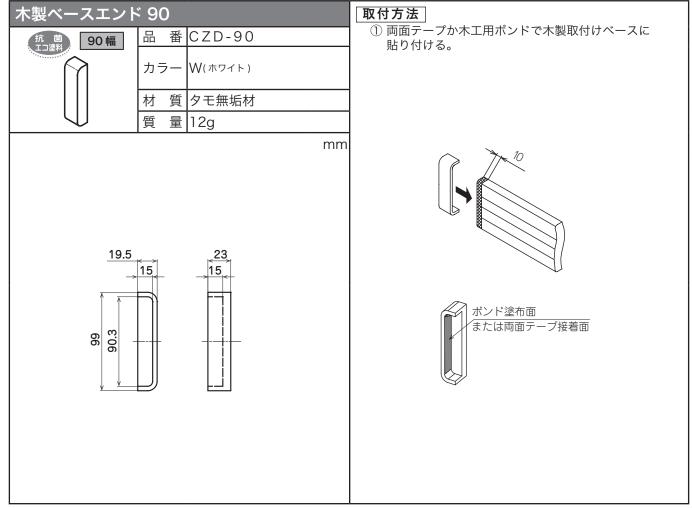
⚠ 注意

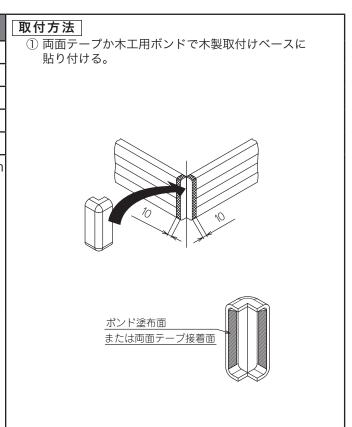
●木製取付けベース 90(CZR-2000/4000) はベース切断の際、 ごく稀に切断面で上手くシートが切断されず、下図のような シート残りが発生することがあります。

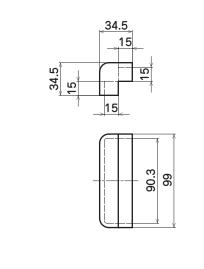
そのような場合、手で無理に除去しようとすると、シートが 余分にめくれる可能性がありますので、カッターなどで 丁寧に取り除いてください。

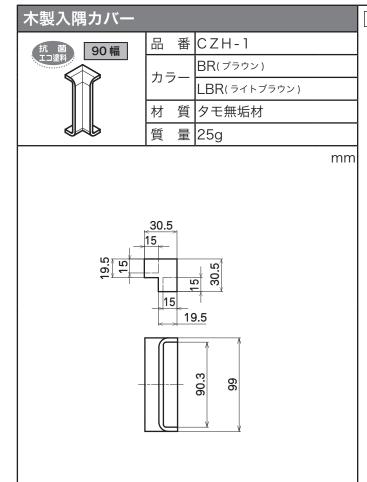






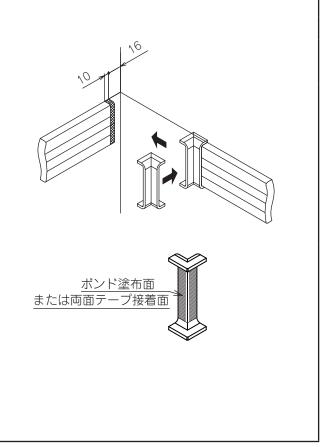


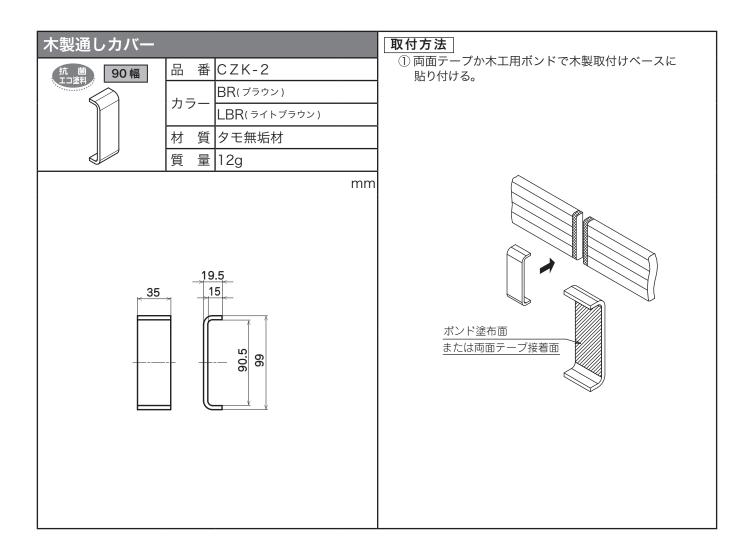




取付方法

① 両面テープか木工用ボンドで木製取付けベースに 貼り付ける。

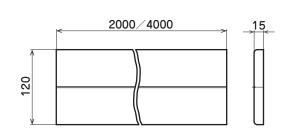




木製取付けベース 120 品番 CZJ-2000 CZJ-4000 BR(ブラウン) LBR(ライトブラウン) W(ホワイト) 材質 ユーカリ LVL 材

量 2300g ※ 2000mm の質量

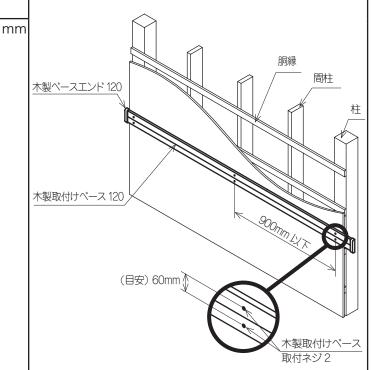
質



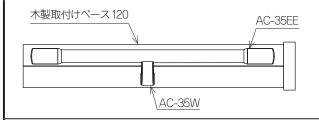
● AA-35EE・AB-35EE EB-5039 AA-35EE・AB-35EE EB-5039 AA-35EE・AB-35EE EB-5039 AA-35EE・AB-35EE EB-5022B

取付方法

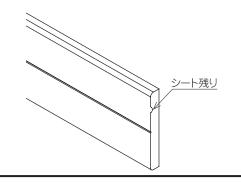
- ●ブラケット取付位置に下地材がない場合は、木製取付け ベース 120 を構造材 (柱・間柱)に固定する。
- 固定には、長さ50 mm以上のビスを使用する。 ※別売の木製取付けベース取付ネジ2(CZB-NE2) をご使用になると、ネジの頭を樹脂製カバーで隠すことができます。
- 下図の間隔以内で、上下2カ所で固定する。

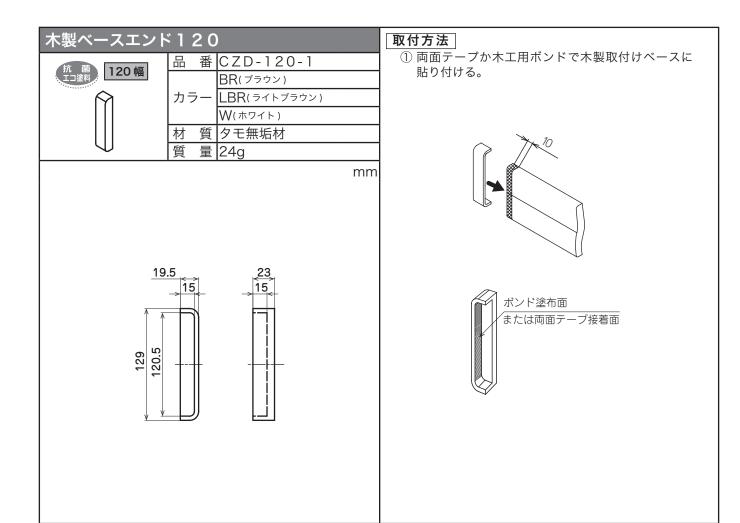


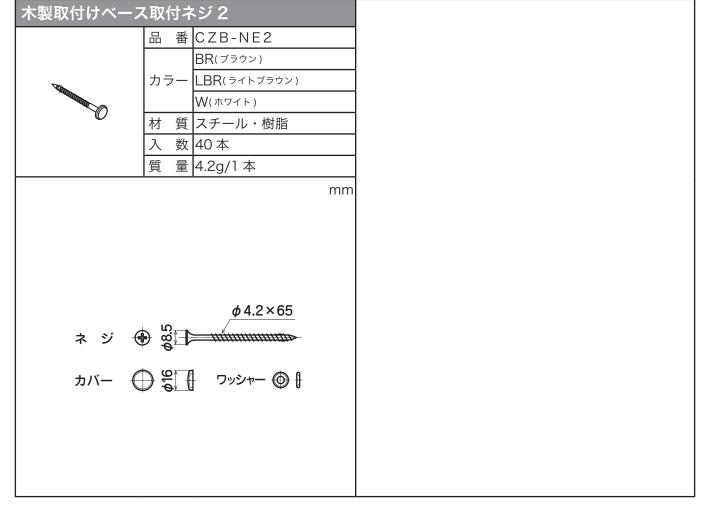
●テネシスシリーズの横受けブラケット (AC-35W/AC-5034) を 使用する場合は、120 幅の取付けベース (CZJ-2000/4000) を使用してください。



●ベース切断の際、ごく稀に切断面で上手くシートが切断されず、下図のようなシート残りが発生することがあります。そのような場合、手で無理に除去しようとすると、シートが余分にめくれる可能性がありますので、カッターなどで丁寧に取り除いてください。







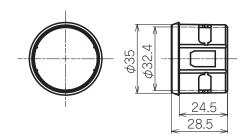
φ32 変換アダプター

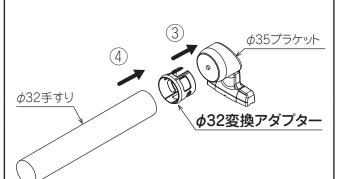


品	番	EBT-S5
		GLD(ゴールド)
カラ	ラー	MB(メタリックブラウン)
l		CL (3/11/5-1)

材 質 樹脂 入 数 10 個

質 量 2.6g/1 個



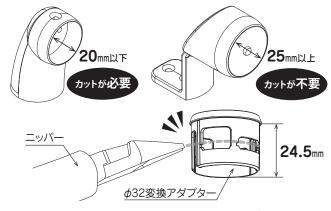


取付方法

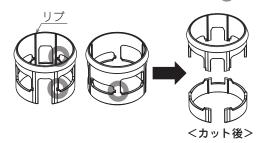
mm

①アダプターのカットが必要か確認する。

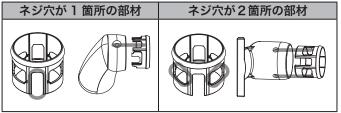
※ブラケットにより、丸棒の入り込み寸法が異なるため、 アダプターのカットが必要な場合があります。



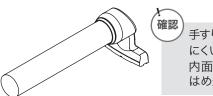
カットはアダプターの細く加工されている箇所(〇印)で行う。



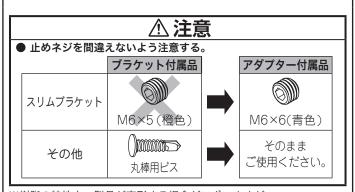
②ブラケットのネジ穴にアダプターの穴を合わせる。



③左図のように、ブラケットをアダプターにはめ込む。 ④手すりをアダプターにはめ込み固定する。 ※手すりブラケットの奥まで確実に差し込んで取り付けてください。



手すりがアダプターにはめ込み にくい場合は、アダプター 内面のリブを削りながら、 はめ込んでください。



※樹脂の特性上、製品が変形する場合がございますが、 取り付けに関して支障はございません。

※ 取付不可ブラケットについて、次ページをご覧ください。

付属部品 丸棒用止めネジ

M6×6 2本

企注意

● φ 32 変換アダプターは下記のブラケット・ジョイントには使用しない。

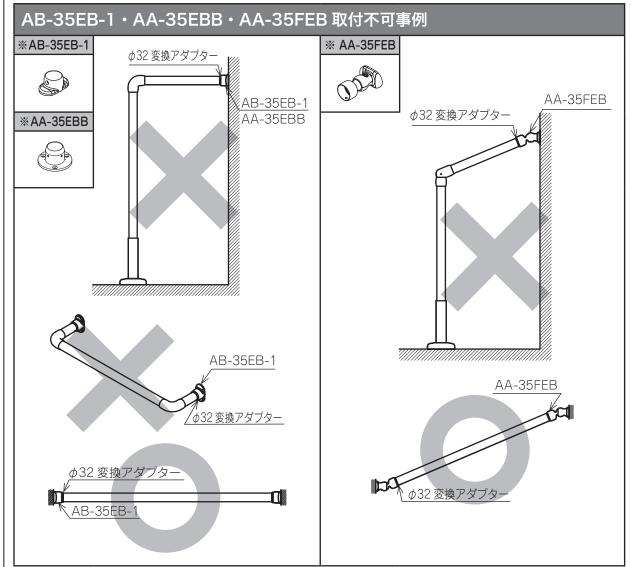
事故やケガをするおそれがあります。

* AA-35EE	AA-35W-1	AA-35SW	ED-5034-1	AA-35CGS	AA-35LC	AA-35FT
AA-35S-1	AB-35TJ-1	AA-35YT	AB-35CT-1	* AB-35EB-1	፠ AA-35FEB	※ AB-35FR
AA-35TS	AA-35TSL	AA-35TSC	AA-35G SET	ED-5036GH	AA-35GT	※ AA-35EBB

※ AA-35EE: AB-35EE にて代用してください。※ AB-35FR: 支柱側は φ32 変換アダプター使用禁止

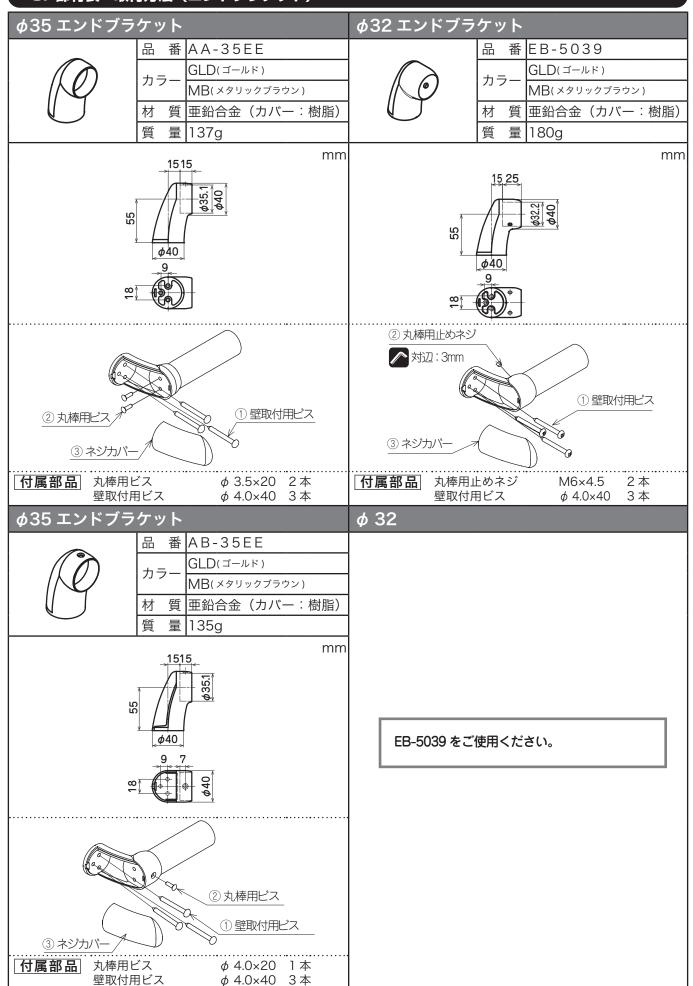
※ AB-35EB-1・AA-35EBB・AA-35FEB: 用途により取付不可の場合があります。

下記の取付不可事例をご参照ください。





8. 部材表・取付方法(エンドブラケット)



φ35 エンドブラケット L

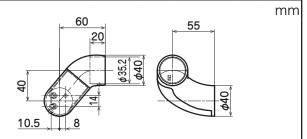
φ32



	먠	番	AA-35EL
			GLD(ゴールド)
	///	,—	MB(メタリックブラウン)

質 亜鉛合金(カバー:樹脂)

量 221g



通常の取付方法

※壁取付用ビスφ 4.0×70 2 本は、使用しません。





※「真壁の側面、大壁の入隅にビスを打ち込む取付方法」については、 次ページをご覧ください。

付属部品 丸棒用ビス 壁取付用ビス φ 4.0×20 1本 φ 4.0×70 2本

壁取付用ビス

φ 4.0×40 3 本

φ32

ϕ 35 エンドブラケット R



品 番 AA-35ER

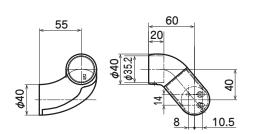
GLD(ゴールド) カラー

MB(メタリックブラウン)

材 質 亜鉛合金 (カバー:樹脂)

量 221a

mm



通常の取付方法

※壁取付用ビス φ 4.0×70 2 本は、使用しません。





※「真壁の側面、大壁の入隅にビスを打ち込む取付方法」については、 次ページをご覧ください。

付属部品 丸棒用ビス

φ 4.0×20 1本

壁取付用ビス

φ 4.0×70 2本

壁取付用ビス

φ 4.0×40 3 本

左のブラケットは 432 手すりパイプにも取り付ける ことができます。

その際は、 **φ32変換アダプター (別売品)** を

ことができます。

取り付けてご使用ください。

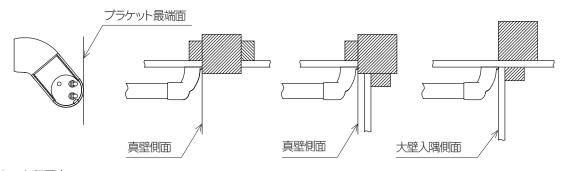
⇒ **ø**32 変換アダプター p. 27

その際は、 **φ32 変換アダプター (別売品)** を 取り付けてご使用ください。

⇒ **φ**32 変換アダプター p. 27

| 真壁の側面、大壁の入隅にビスを打ち込む取付方法|

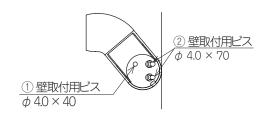
※壁取付用ビス φ 4.0×40 2 本は、使用しません。



① ブラケット仮固定 下図①の位置に、壁取付用ビス φ 4.0×40 を打ち込む。



 ϕ 4.0 × 40 打ち込み位置には下地がないため、壁取付けの強度はありません。このビスにより ϕ 4.0 × 70 を打ち込む際の横ズレ、壁・柱への食い込みを防止します。

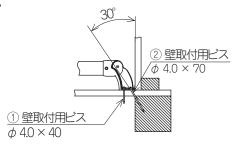


② ブラケット固定

下図②の位置に、壁取付用ビス φ 4.0×70 を 30° の角度で打ち込む。

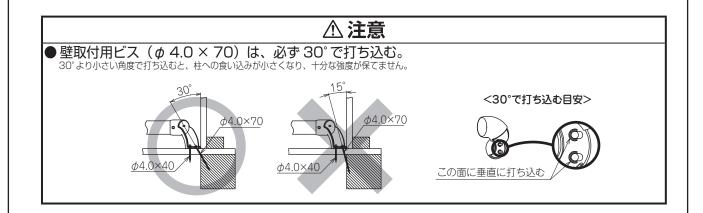


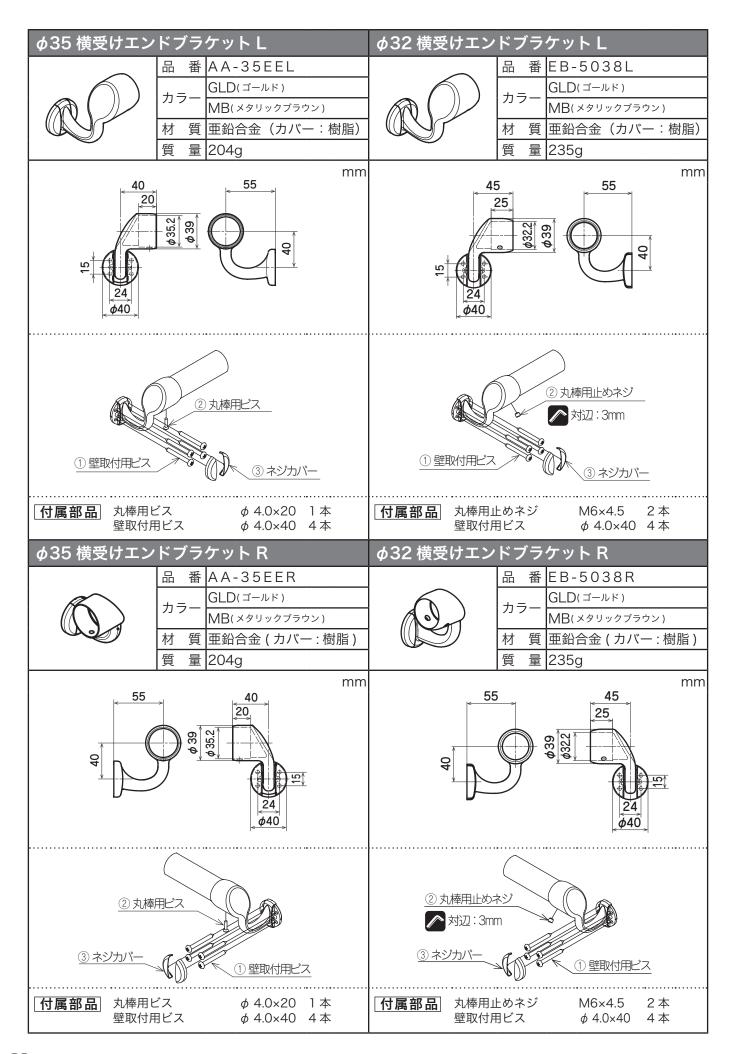
長さ 11cm 以上のビットをご使用ください。



- ③丸棒を固定する。
- ④ ネジカバーを取り付ける。







φ35 出幅調整付エンドブラケット L **ø32** 品 番 AA-35SEL GLD(ゴールド) カラ-MB(メタリックブラウン) 材 アルミ合金(カバー:樹脂) 質 量 | 135g mm 角度調整フリー 55 20,20 4 左のブラケットはφ 32 手すり丸棒にも取り付ける ことができます。 その際は、**φ32変換アダプター (別売品)** を 取り付けてご使用ください。 ⇒ ø 32 変換アダプター p. 27 ①壁取付用ビス ②アーム ※向き注意 確認 ③ 丸棒用ビス ガイド溝を 下に向ける。 ④ 出幅調整止めネジ ⑤ ネジカバー か対辺:3mm 丸棒用ビス 付属部品 φ 4.0×20 1本 壁取付用ビス φ 4.0×40 4本 出幅調整止めネジ M6×5 φ35 出幅調整付エンドブラケット R φ32 品 番 AA-35SER GLD(ゴールド) カラ-MB(メタリックブラウン) 材 質 アルミ合金 (カバー:樹脂) 質 量 | 135g mm 20 角度調整フリー 20 20 ① 壁取付用ビス ※向き注意 確認 ③ 丸棒用ビス ガイド溝を 下に向ける。 ④ 出幅調整止めネジ ⑤ ネジカバー **№**対辺:3mm 付属部品 φ 4.0×20 1本 丸棒用ビス

壁取付用ビス

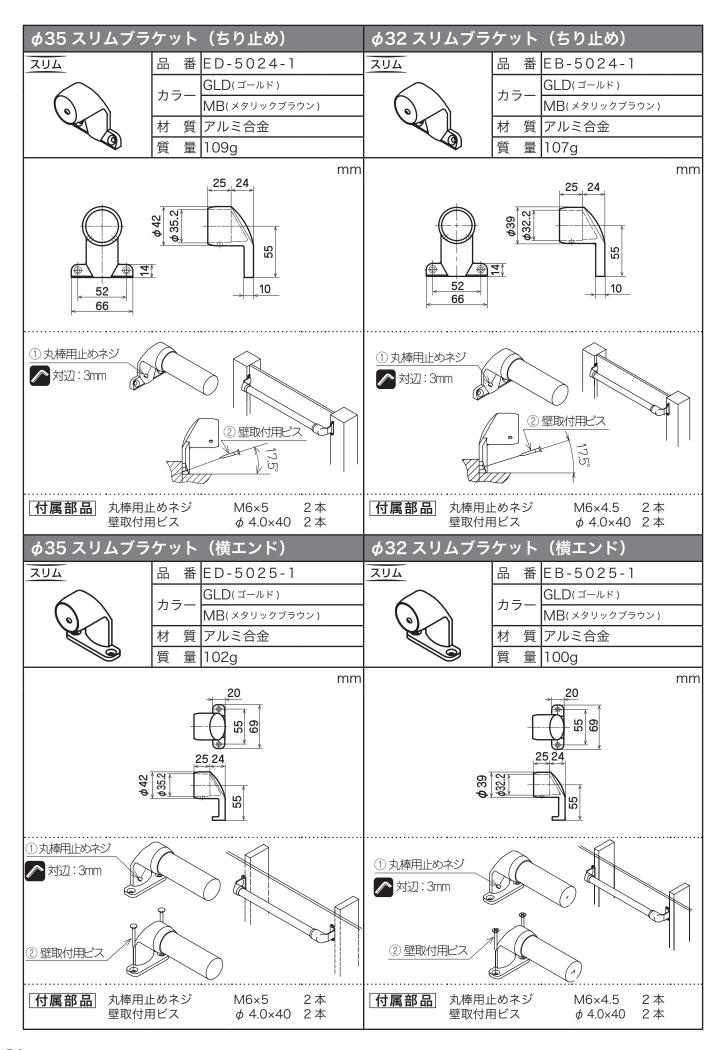
出幅調整止めネジ

φ 4.0×40 4本

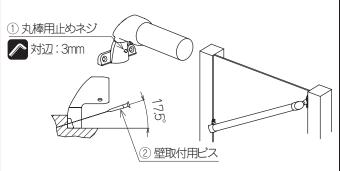
1本

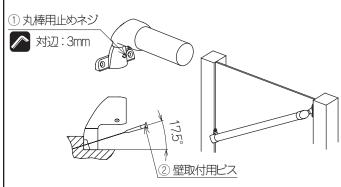
M6×5

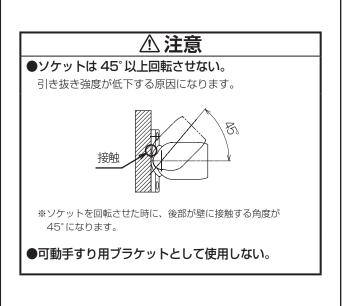
左のブラケットはφ32手すり丸棒にも取り付ける ことができます。 その際は、 **φ32変換アダプター (別売品)** を 取り付けてご使用ください。 ⇒ φ 32 変換アダプター p. 27



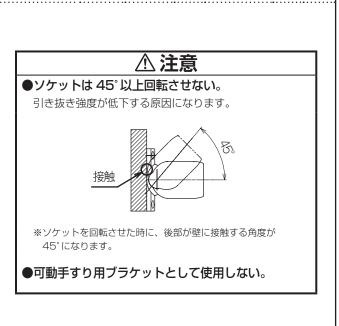
φ35 スリム自在ブラケット(ちり止め) φ32 スリム自在ブラケット(ちり止め) スリム 品 番 ED-5024A スリム 品 番 EB-5024A GLD(ゴールド) GLD(ゴールド) カラー カラー MB(メタリックブラウン) MB(メタリックブラウン) 質アルミ合金 質 アルミ合金 材 材 質 質 量 | 99g 量 97g mm mm 90° 90° \$32.2 \$\phi\$39 25





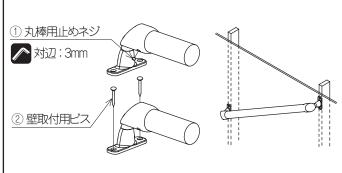


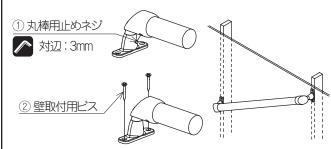
付属部品



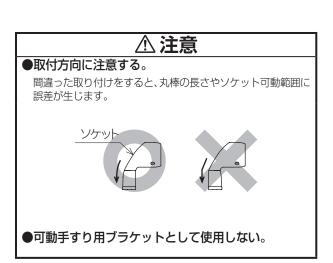
丸棒用止めネジ	M6×5	2本	付属部品	丸棒用止めネジ	M6×4.5	2本
壁取付用ビス	φ 4.0×40	2本		壁取付用ビス	φ 4.0×40	2本

φ35 スリム自在ブラケット(横エンド) φ32 スリム自在ブラケット(横エンド) スリム スリム 品 番 ED-5025A 品 番 EB-5025A GLD(ゴールド) GLD(ゴールド) カラ-カラ-MB(メタリックブラウン) MB(メタリックブラウン) アルミ合金 質 質 アルミ合金 材 材 質 量 101g 質 量 99g mm mm 90° 90° φ35.2 φ42 \$32.2 \$\phi 339 22 13 13 25 12 12 21.8_ <u></u> 61 21.8_ 61

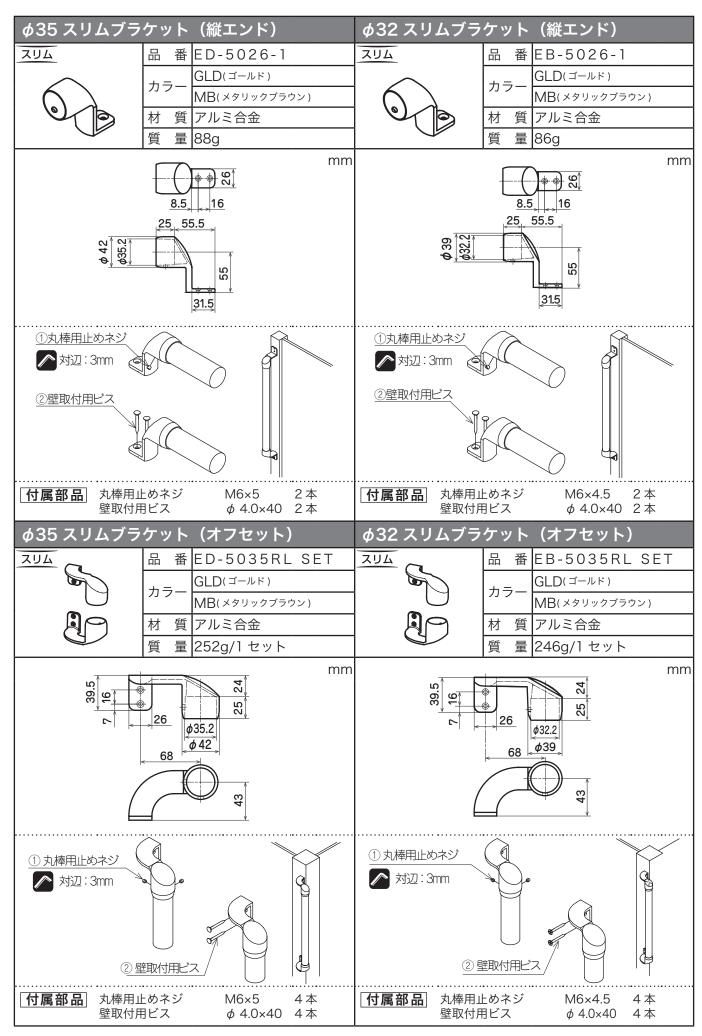


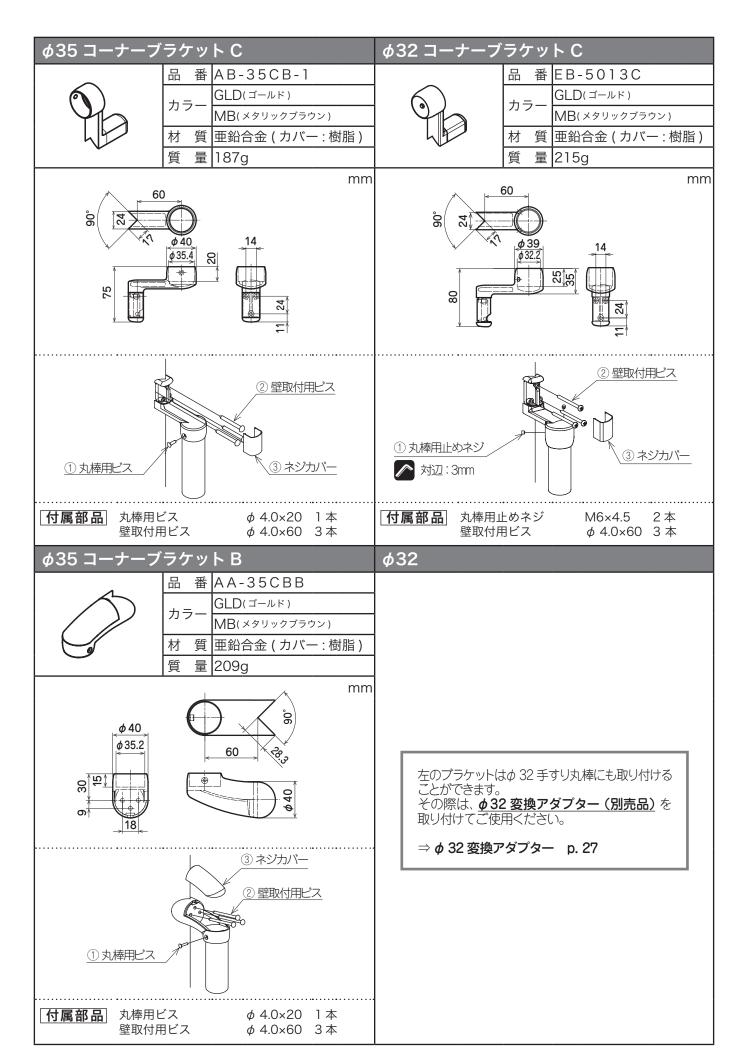




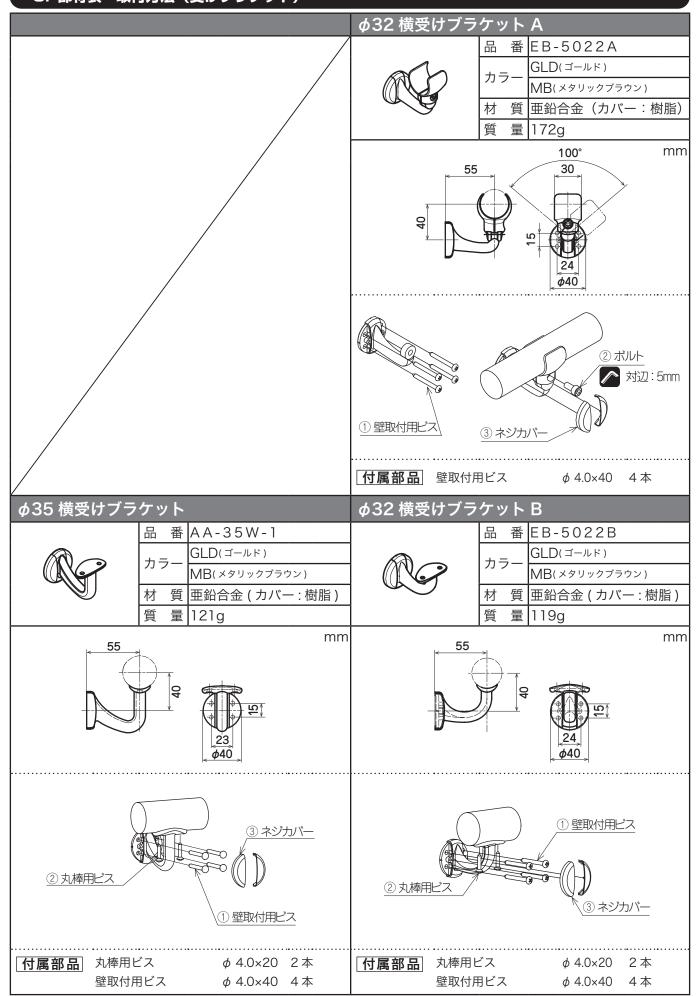


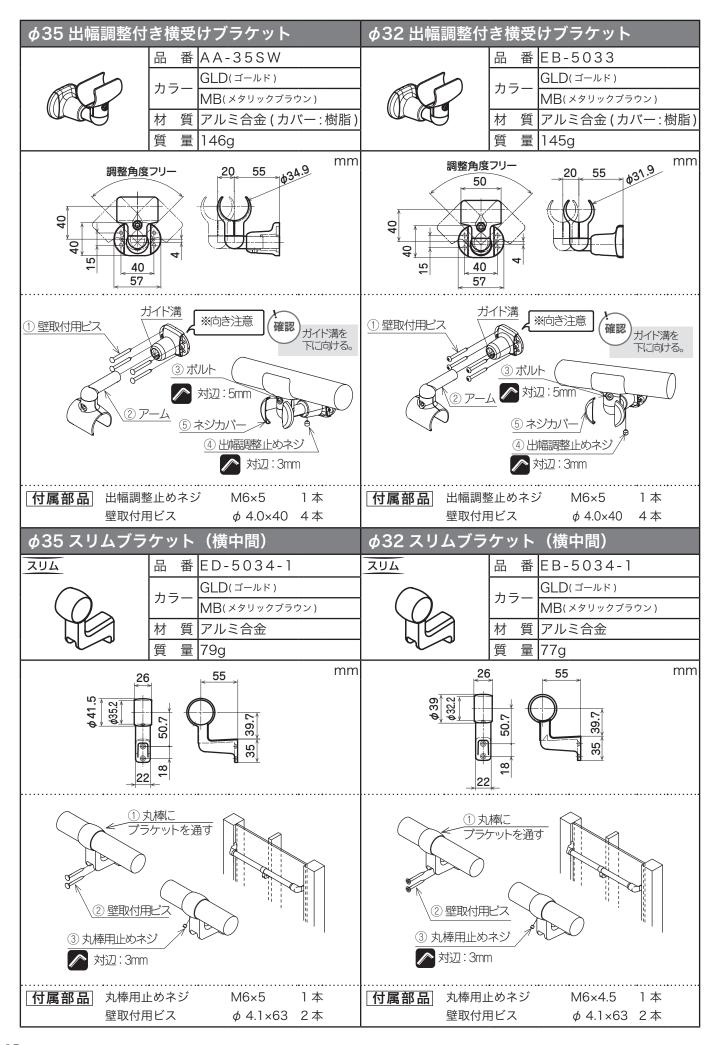
付属部品丸棒用止めネジM6×52本付属部品丸棒用止めネジM6×4.52本壁取付用ビスφ 4.0×402本壁取付用ビスφ 4.0×402本





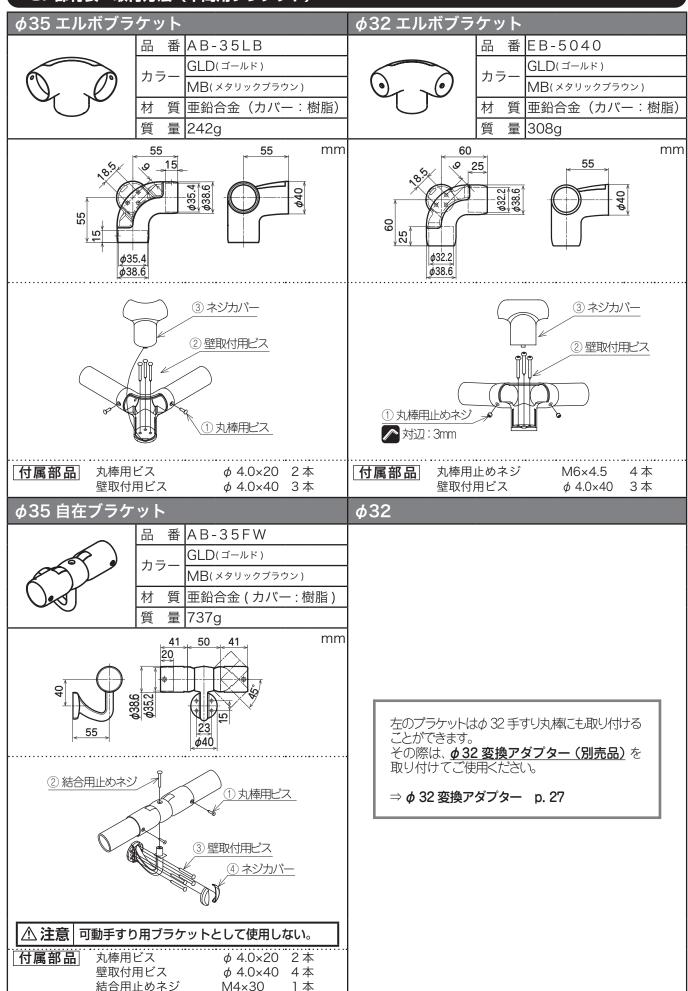
8. 部材表・取付方法(受けブラケット)





φ35 縦受けブラ	ケット			φ32 縦受	けブラケッ	ノト	В
	カラー GLI MB	35S-1 D(ゴールド) (メタリックブラ 公合金(カバ・			日 力 材 質	ラー質	EB-5023B GLD(ゴールド) MB(メタリックブラウン) 亜鉛合金(カバー:樹脂) 79g
55		14		φ 40	55	*	14 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
① 丸棒用ビス		② 壁取付j (3) ネジ	用ビス カバー	① 丸棒用ビス			② 壁取付用ビス
【 付属部品 丸棒用 b 壁取付月		φ 4.0×20 φ 4.0×40		付属部品	丸棒用ビス 壁取付用ビス	ζ	φ 3.5×20 2本 φ 4.0×40 2本

8. 部材表・取付方法(中間用ブラケット)



<u>φ35</u> コーナー出隅ブラケット φ32 番 AB-35LWE 品 GLD(ゴールド) カラ: MB(メタリックブラウン) 質 亜鉛合金 (カバー:樹脂) 材 量 355g mm 9.5 2 <u>6</u> 32 40 ② 結合用止めネジ 対辺:3mm ④ ネジカバー ①丸棒用ビス ③ 壁取付用ビス

左のブラケットはø 32 手すり丸棒こも取り付ける ことができます。

その際は、*ϕ* **32 変換アダプター (別売品)** を取り付けてご使用くだざい。

⇒ **φ** 32 変換アダプター p. 27

φ35 コーナー入隅ブラケット

丸棒用ビス

壁取付用ビス

結合用止めネジ



付属部品

品	番	AB-35LWC

カラー GLD(ゴールド) MB(メタリックブラウン)

M6×5

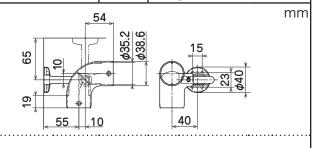
φ 4.0×20 2本

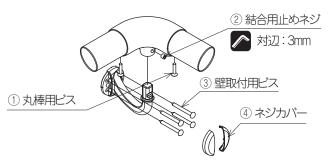
φ 4.0×40 4本

1本

材 質 亜鉛合金 (カバー: 樹脂)

質 量 307g





付属部品

丸棒用ビス 壁取付用ビス 結合用止めネジ φ 4.0×20 2 本 φ 4.0×40 4 本 M6×5 1 本

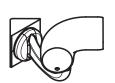
φ32

左のブラケットは ϕ 32 手すり丸棒にも取り付けることができます。

その際は、**夕32 変換アダプター (別売品)** を取り付けてご使用ください。

⇒ **φ** 32 変換アダプター p. 27

φ35 コーナー入隅ブラケット(角付け)

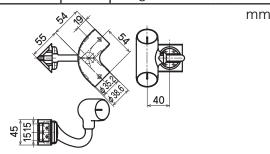


番 AB-35LWC SET 品

GLD(ゴールド) カラ

MB(メタリックブラウン) |亜鉛合金(カバー:樹脂) 材

380g





付属部品 丸棒用ビス

φ 4.0×20 2本 壁取付用ビス φ 4.0×60 3 本 アダプタ取付用ビス M4×12

結合用止めネジ M6×5 φ32

左のブラケットはの32手すり丸棒にも取り付ける ことができます。

その際は、**φ32変換アダプター (別売品)** を 取り付けてご使用ください。

⇒ **d** 32 変換アダプター p. 27

<u>-ナー出隅自在ブラケット</u> **ゆ35** コ・



番 AA-35FWE 品

GLD(ゴールド) カラー

MB(メタリックブラウン)

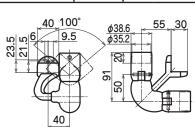
4本

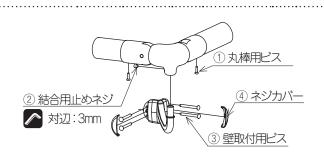
1本

mm

|亜鉛合金 / アルミ合金(カバー∶樹脂) 材

量 530g





⚠ 注意 可動手すり用ブラケットとして使用しない。

付属部品 丸棒用ビス

φ 4.0×20 2本 φ 4.0×40 4本 壁取付用ビス 結合用止めネジ M6×5 1本

ø32

左のブラケットはゆ32手すり丸棒にも取り付ける ことができます。

その際は、**φ32変換アダプター (別売品)** を 取り付けてご使用ください。

⇒ φ 32 変換アダプター p. 27

φ35 コーナー入隅自在ブラケット

φ32

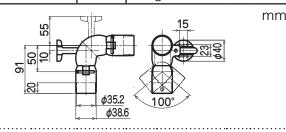


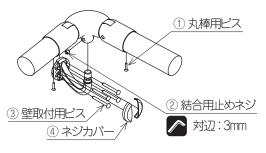
品番 AA-35FWC カラー GLD(ゴールド)

MB(メタリックブラウン)

材 質 亜鉛合金 / アルミ合金 (カバー:樹脂)

質 量 488g





左のブラケットはφ 32 手すり丸棒にも取り付ける ことができます。

その際は、 $\underline{\phi}$ 32 変換アダプター (別売品) を取り付けてご使用ください。

⇒ **φ** 32 変換アダプター p. 27

⚠ 注意 可動手すり用ブラケットとして使用しない。

付属部品

ゅ35 コ-

丸棒用ビス 壁取付用ビス

φ 4.0×20 2本φ 4.0×40 4本

1本

φ32



品 番 AA-35FWC SET

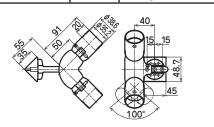
−入隅自在ブラケット(角付け**)**

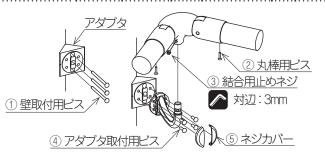
カラー GLD(ゴールド) MB(メタリックブラウン)

材 質 亜鉛合金 / アルミ合金 (カバー: 樹脂)

質 量 549g







左のブラケットはø 32 手すり丸棒にも取り付ける ことができます。

その際は、*ϕ* **32 変換アダプター (別売品)** を取り付けてご使用ください。

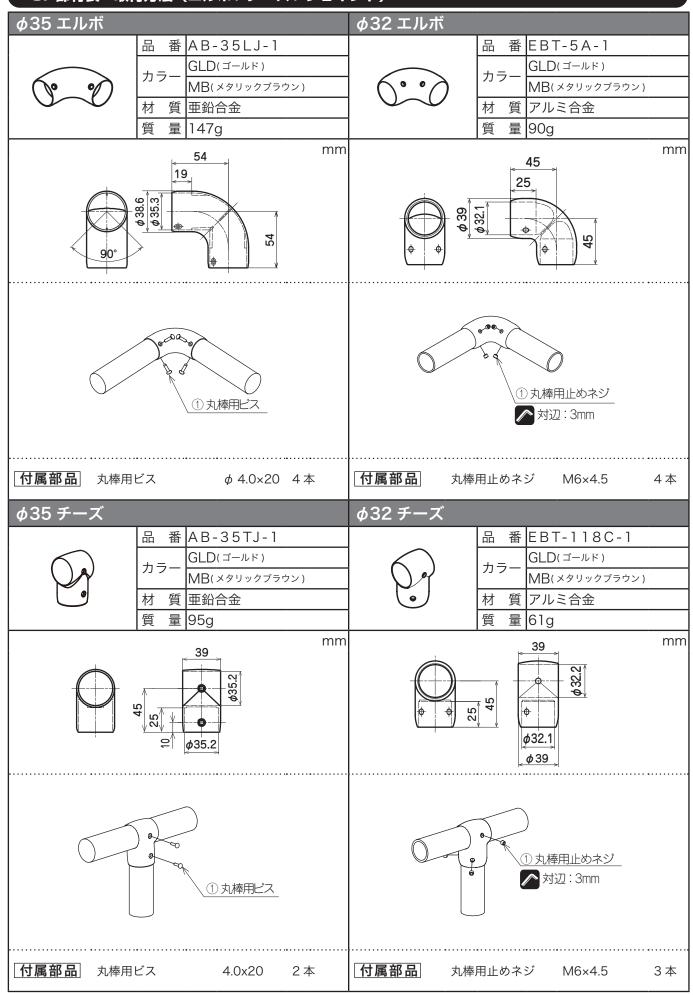
⇒ **φ** 32 変換アダプター p. 27

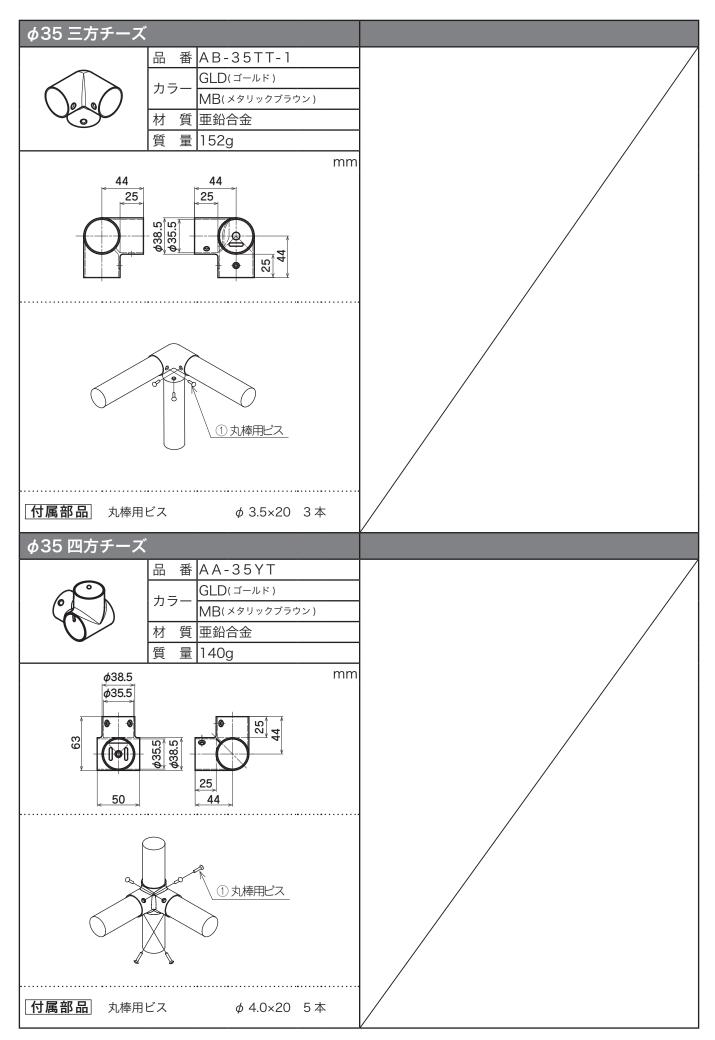
▲ 注意 可動手すり用ブラケットとして使用しない。

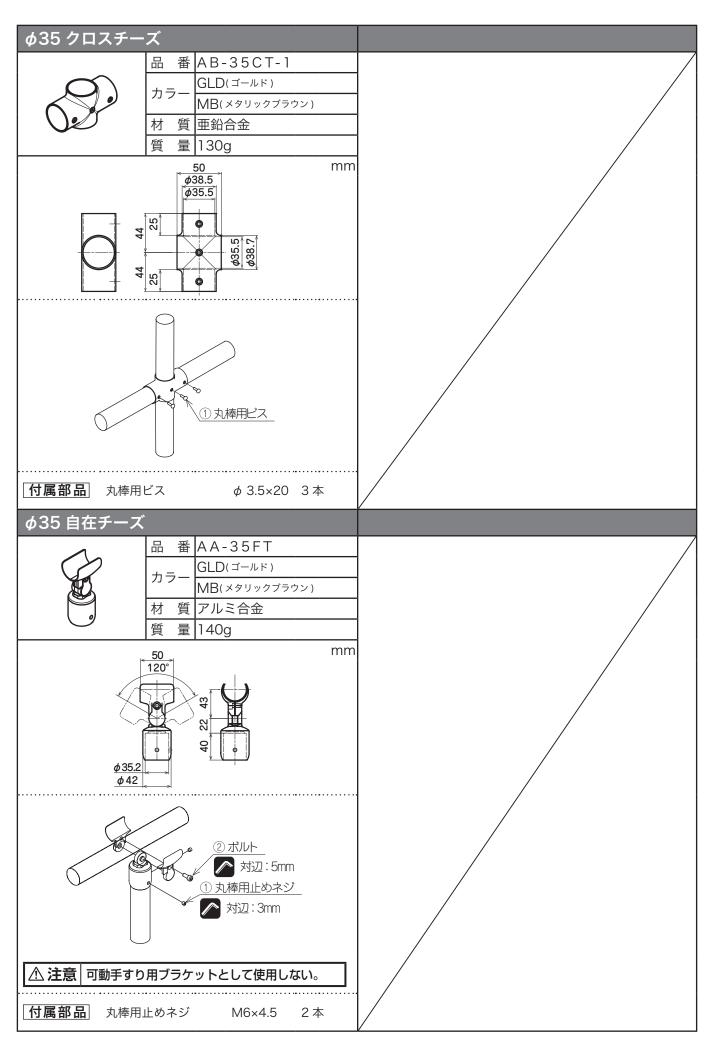
付属部品 丸棒用ビス

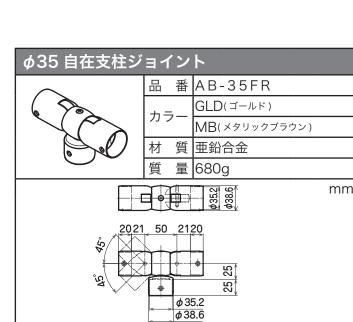
丸棒用ビスφ 4.0×202 本壁取付用ビスφ 4.0×603 本結合用止めネジM6×51 本アダプタ取付用ビスM4×124 本

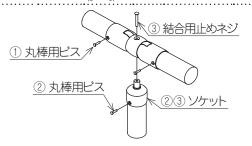
8. 部材表・取付方法(エルボ / チーズ / ジョイント)











左のブラケットはゆ32手すりパイプにも取り付ける ことができます。

その際は、**φ32変換アダプター (別売品)**を取り付けてご使用ください。 (仕様が限定されますので、p.28 をご確認ください)

⇒ **φ**32 変換アダプター p. 27

|⚠ 注意 | 可動手すり用ジョイントとして使用しない。

丸棒用ビス 付属部品 結合用止めネジ

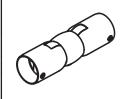
φ 4.0×20 3 本 M4×30 1本

め35 自在ジョイント

φ 32

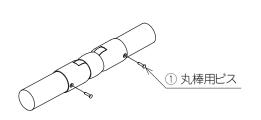
mm

φ 32



品 番		AB-35FC
+ =		GLD(ゴールド)
/// /	_	MB(メタリックブラウン)
材	質	亜鉛合金
質	量	629a

132 20 50 \$38.6 \$35.2 35



左のブラケットはゆ32手すり丸棒にも取り付ける

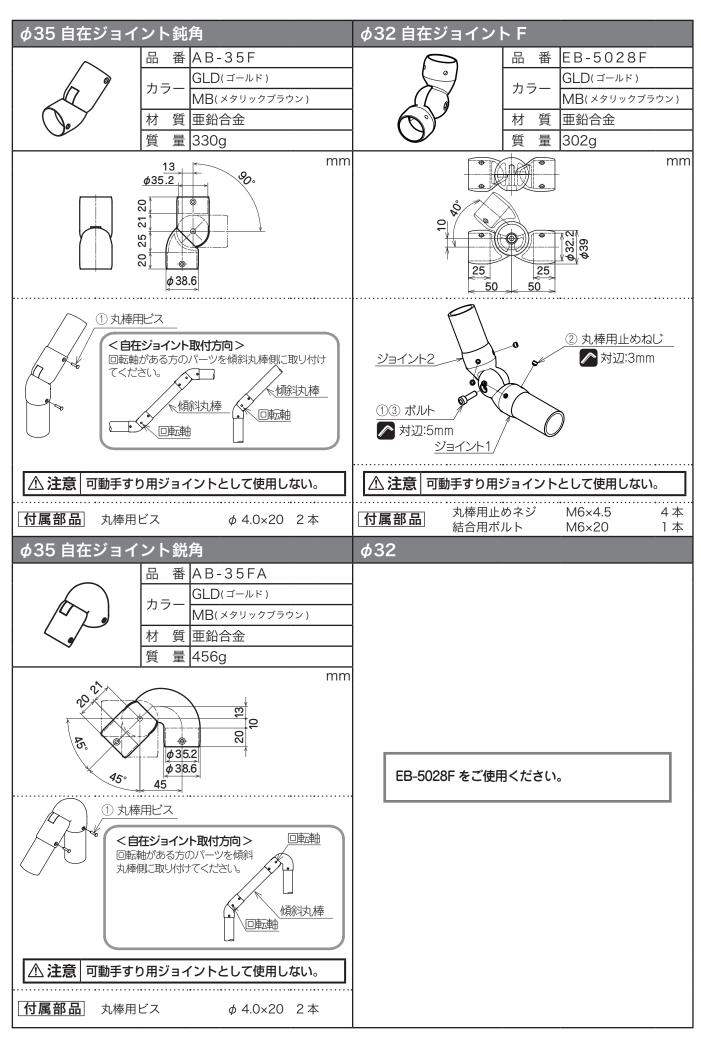
ことができます。 その際は、**ø32変換アダプター (別売品)** を 取り付けてご使用ください。

⇒ ø 32 変換アダプター p. 27

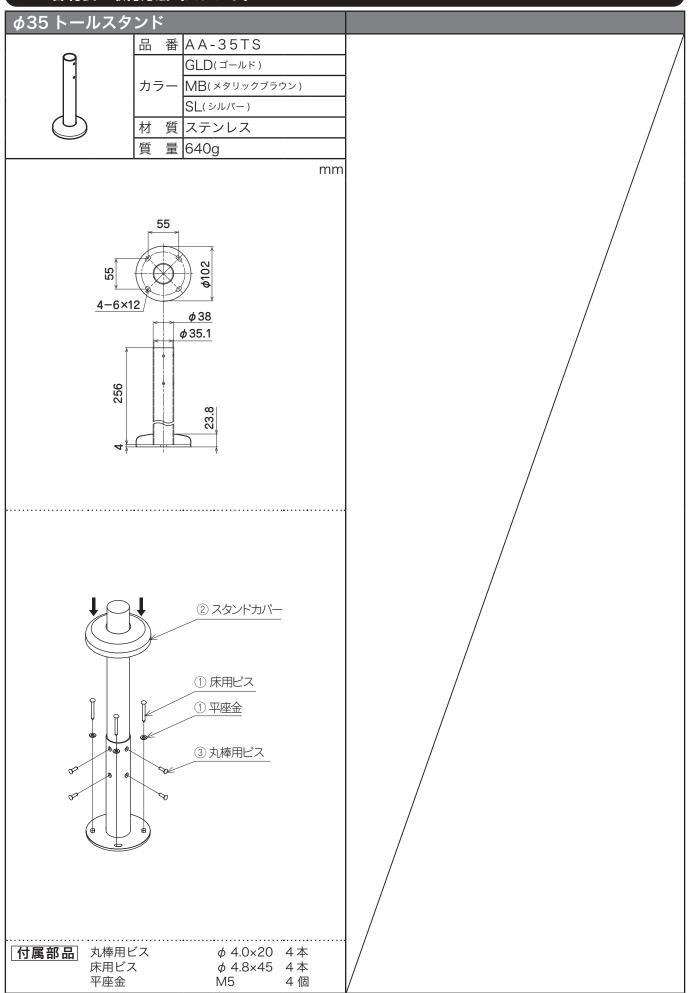
⚠ 注意 | 可動手すり用ブラケットとして使用しない。

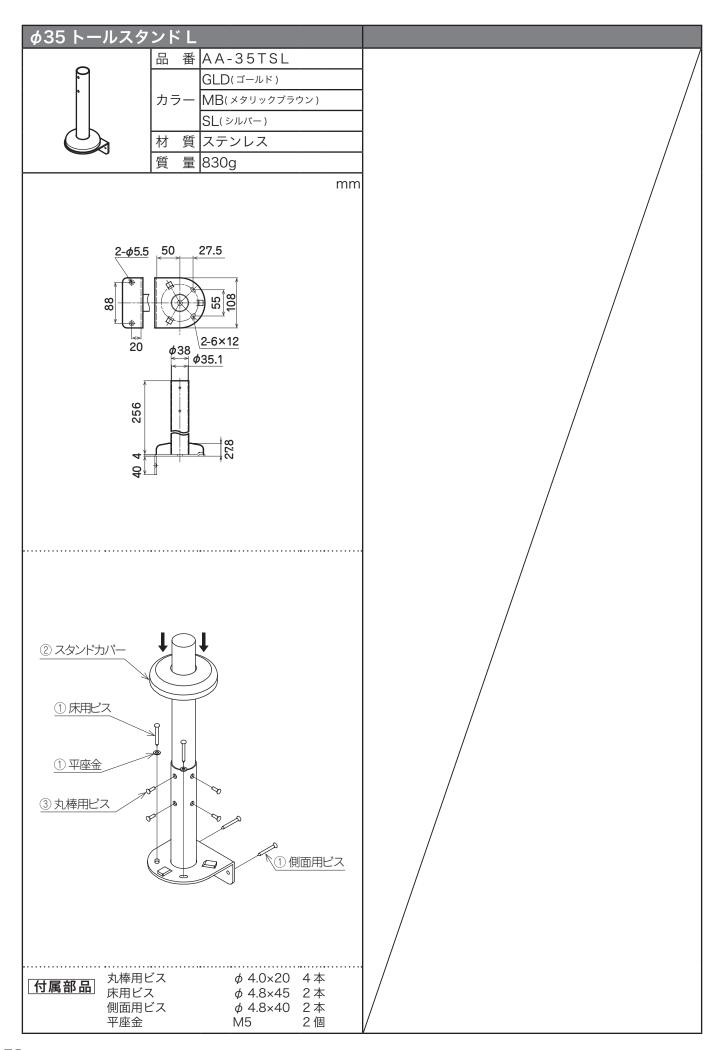
付属部品 丸棒用ビス

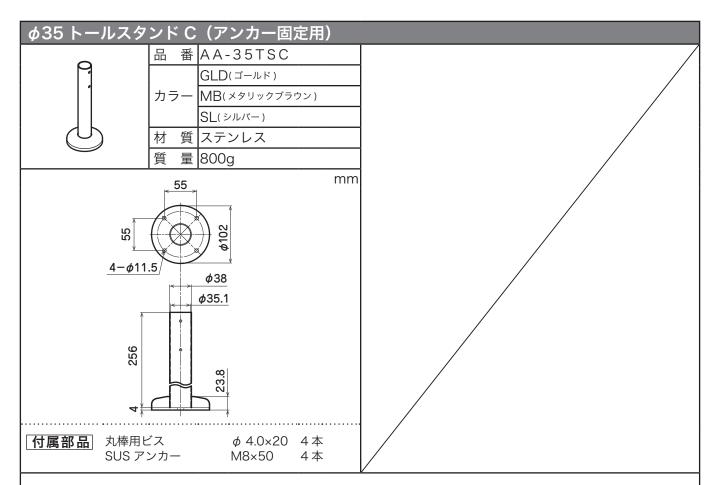
φ 4.0×20 2本



8. 部材表・取付方法(スタンド)

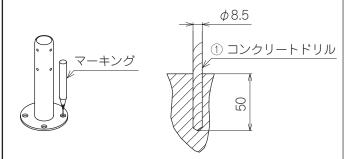




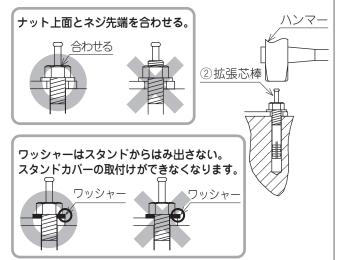


取付方法

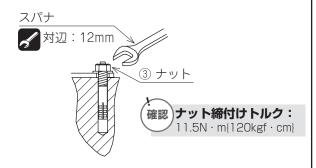
① 固定位置にマーキングをし、コンクリートドリルで ϕ 8.5mm、深さ 50mm の穴を4カ所あける。



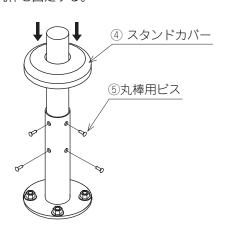
② スタンドを置き、アンカーを差し込み、拡張芯棒をボルト先端に接するまでハンマーで打ち込む。



③ ナットを締め付ける。

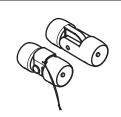


- ④ スタンドカバーを取り付ける。
- ⑤ 丸棒を固定する。



8. 部材表・取付方法(機能ブラケット/エンドベース)

φ35 はね上げジョイントセット



品番AA-35G SET

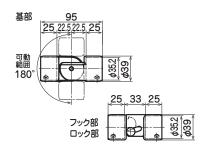
カラー GLD(ゴールド)

MB(メタリックブラウン)

材質 アルミ合金 (ロックカバー:ナイロン)

質 量 215g/1 セット

mm



付属部品 丸棒用ビス

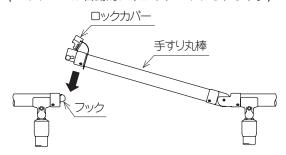
φ 4.0×20 8本

●手すり操作方法

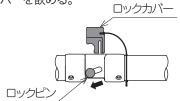
取付方法

① ロックカバーを外した状態で、丸棒をフックに垂直に落とし込む。

(ロックピンが自動的に下がり、ロックされます。)



② ロックカバーを嵌める。

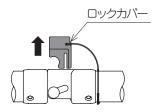


企注意

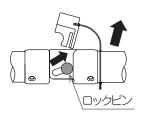
- ●取り付け後、必ず以下の項目を確認する。
 - (1) ロックがフックに確実に嵌まっていること
 - (2) ロックピンが下方にスライドしていること
 - (3) 手すり丸棒を持ち上げても外れないこと

取外し方法

①ロックカバーを外す。

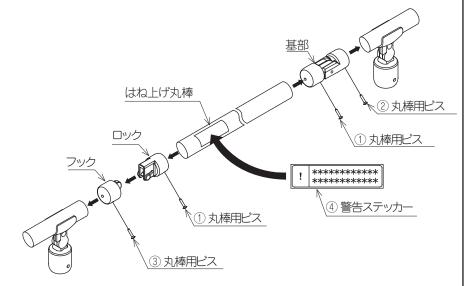


②ロックピンを斜めに引き上げ、丸棒を持ち上げる。

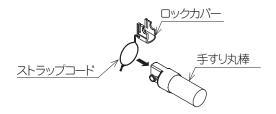


※「はね上げジョイントセットの取付方法」は次ページを ご参照ください。 はね上げジョイントセットの取付方法 ※取付けは、部品同士の嵌合を確認しながら、慎重に行ってください。

- 取付不可事例 (p.15 ~ 17) に掲載する構成では取り付けない。
 ブラケット・スタンドに思わぬ力が加わり、破損をまねく場合があります。
- ① 丸棒にロックと基部を固定する。
- ②基部を固定手すりの端部に固定する。
- ③ もう一方の端部にフックを固定する。
- ④ 警告ステッカーを貼り付ける。



⑤ ロックカバーを取り付ける。 (手順 1) ストラップコードを丸棒に通す。

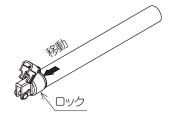


(手順2) かしめチューブを引き下ろし、ラジオペンチでかしめる。



ストラップコードは、たるみがないように取り付ける。ゆるい状態でかしめると、ロックカバーが手すり丸棒から抜け落ちたり、ストラップコードに指が引っ掛かり危険です。

(手順3) ストラップをロックまで移動させる。



●施工後、手すりがスムーズにはね上げ、はね下ろしができること、ロックが確実にできること、手すり丸棒を持ち上げても、外れないことを確認する。

φ35 はね上げ縦受けブラケット



品 番 AA-35CGS

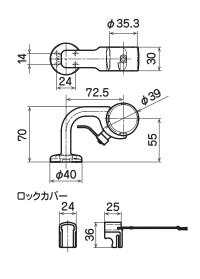
カラー GLD(ゴールド)

MB(メタリックブラウン)

材 質 アルミ合金

質 量 150g

mm



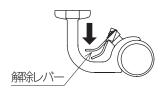
付属部品

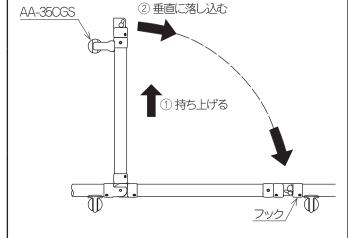
丸棒用ビス 壁取付用ビス φ 4.0×20 2 本 φ 4.0×40 4 本

●手すり操作方法

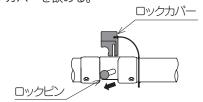
縦手すりから横手すりに変更する方法

- ① 解除レバーを手前に押しながら、手すりを持ち上げロックを解除する。
- ② 手すりを回転させ、フックに垂直に落し込む。 (ロックピンが自動的に下がり、ロックされます。)





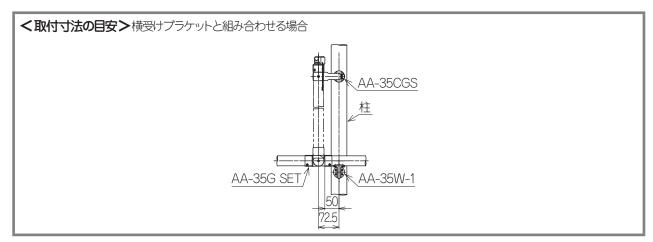
③ ロックカバーを嵌める。



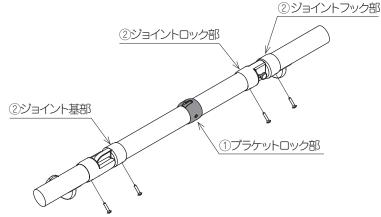
- 取り付け後、必ず以下の項目を確認する。
 - (1) ロックがフックに確実に嵌まっていること
 - (2) ロックピンが下方にスライドしていること
 - (3) 手すり丸棒を持ち上げても外れないこと

※「はね上げ縦受けブラケットの取付方法」は次ページを ご参照ください。

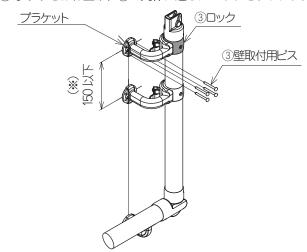
はね上げ縦受けブラケットの取付方法 ※取付けは、部品同士の嵌合を確認しながら、慎重に行ってください。



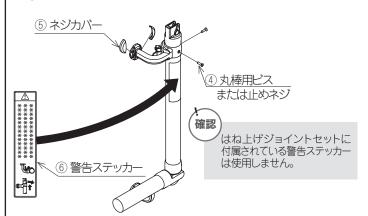
- ① はね上げジョイントセットを取り付けの前にロックを丸棒に通しておく。
- ② はね上げジョイントセットを取り付ける。

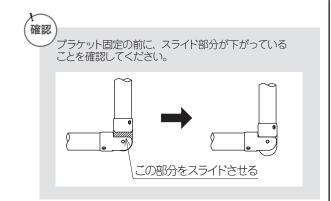


③手すりをはね上げ、①で丸棒に通したロックをブラケットに嵌め、ブラケットの位置を確認し、固定する。



- ④ AA-35CGS ロックに丸棒を固定する。
- ⑤ ネジカバーを取り付ける。
- ⑥ 警告ステッカーを貼り付ける。





● ブラケットは、ご利用者様の目の高さを避けて固定する。

基本的には最上部(はね上げジョイントセットのロックに ぶつかる位置)に固定しますが、ご利用者様の目の高さに ブラケットがくる場合は、150mm(※)の範囲で取付高さ を調整してください。

ご利用者様の目の高さにブラケットがあると、歩行時に目をぶつける可能性があり、危険です。

●施工後、手すりがスムーズに縦手すり⇔横手すりに変更できること、ロックが確実にできること(ロックを嵌めたときにカチっと音がすること)、手すり丸棒を持ち上げても外れないことを確認する。

φ35 着脱手すり金具平行型



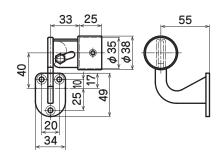
品 番 ED-5036GH

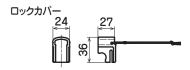
カラー GLD(ゴールド)

材質ステンレス

^{™ 具} (ロックカバー:ナイロン) 質 量 515g/1 セット

mm





付属部品

丸棒用ビス 壁取付用ビス φ 4.0×20 4本 φ 4.8×40 6本

●手すり操作方法

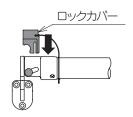
取付方法

① ロックカバーを外した状態で、丸棒をキャッチに垂直に落とし込む。

(ロックピンが自動的に下がり、ロックされます。)



② ロックカバーを嵌める。



<u></u> 注意

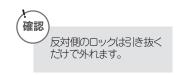
- ●取り付け後、必ず以下の項目を確認する。
 - (1) 両側のロックがキャッチに確実に嵌っていること (2) 両側のロックピンが下方にスライドしていること
 - (3) 手すり丸棒を持ち上げても外れないこと

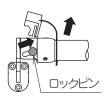
取外し方法

①ロックカバーを外す。



②ロックピンを斜めに引き上げ、丸棒を持ち上げる。





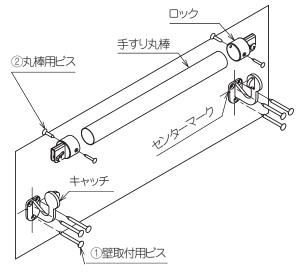
●取り外しは両手で行う。

手すり丸棒が落下し、ケガをするおそれがあります。

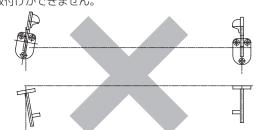
※「着脱手すり平行型の取付方法」は次ページをご参照ください。

着脱手すり平行型の取付方法 ※取り付けは、部品同士の嵌合を確認しながら、慎重に行ってください。

- ①壁に下穴をあけ、キャッチを固定する。
- ② 丸棒にロックを固定する。

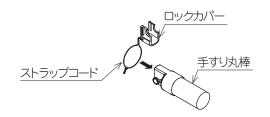


●両側のキャッチは、並行かつ水平に取り付ける。 高さが違っていたり、斜めになっていると、手すり丸棒の 取付けができません。



●手すり丸棒が水平に取り付くように施工する。 斜めには取り付けできません。

③ ロックカバーを取り付ける。 (手順 1) ストラップコードを丸棒に通す。

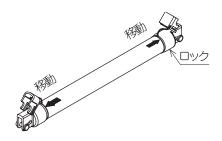


(手順2) かしめチューブを引き下ろし、ラジオペンチでかしめる。



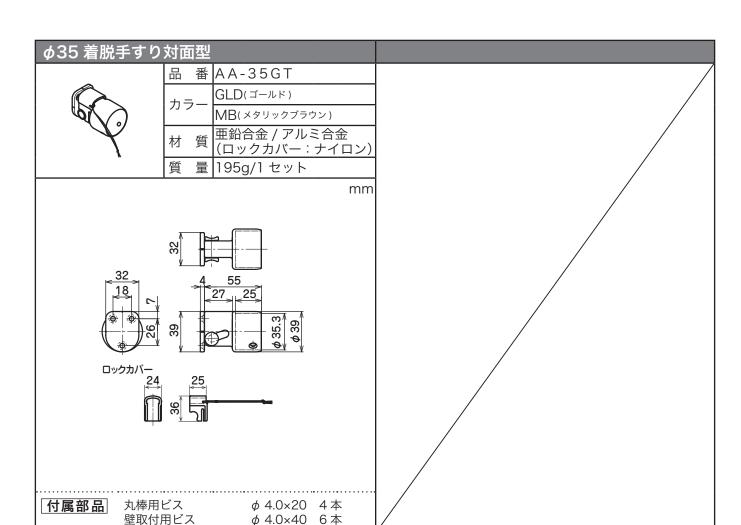
ストラップコードはたるみがないように取り付ける。 ゆるい状態でかしめると、ロックカバーが手すり丸棒から抜け落ちたり、ストラップコードに指が引っ掛かり危険です。

(手順3) ストラップをロックまで移動させる。



<u></u> 注意

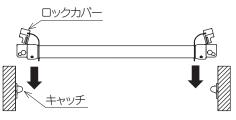
●施工後、手すり丸棒がスムーズにはね上げ、はね下ろしができること、ロックが確実にできること、 手すり丸棒を持ち上げても、外れないことを確認する。



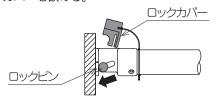
●手すり操作方法

取付方法

① ロックカバーを外した状態で、丸棒をキャッチに垂直に落とし込む。(ロックピンが自動的に下がり、ロックされます。)



②ロックカバーを嵌める。

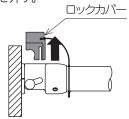


企注意

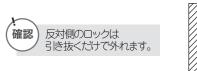
- 取り付け後、必ず以下の項目を確認する。
 - (1) 両側のロックがキャッチに確実に嵌まっていること
 - (2) 両側のロックピンが下方にスライドしていること
 - (3) 手すり丸棒を持ち上げても外れないこと

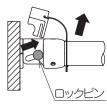
取外し方法

①ロックカバーを外す。



②ロックピンを斜めに引き上げ、丸棒を持ち上げる。





■ 取り外しは両手で行う。

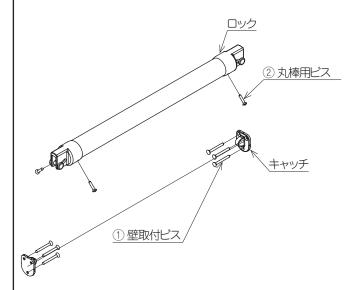
手すり丸棒が落下し、ケガをするおそれがあります。

※「着脱手すり対面型の取付方法」は次ページを ご参照ください。

着脱手すり対面型の取付方法

|※取り付けは、部品同士の嵌合を確認しながら、慎重に行ってください。

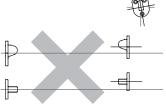
- ① 壁に下穴をあけ、キャッチを固定する。
- ② 丸棒にロックを固定する。



⚠ 注意

● 両側のキャッチは、平行かつ水平に取り付ける。高さが違っていたり、会とはまっていると

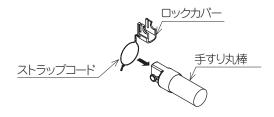
斜めになっていると、 手すり丸棒の取り付けが できません。



●手すり丸棒が水平に取り付くように施工する。

斜めには取り付けできません。

③ ロックカバーを取り付ける。 (手順 1) ストラップコードを丸棒に通す。

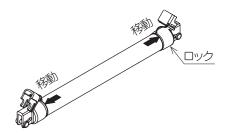


(手順 2) かしめチューブを引き下ろし、ラジオペンチでかしめる。

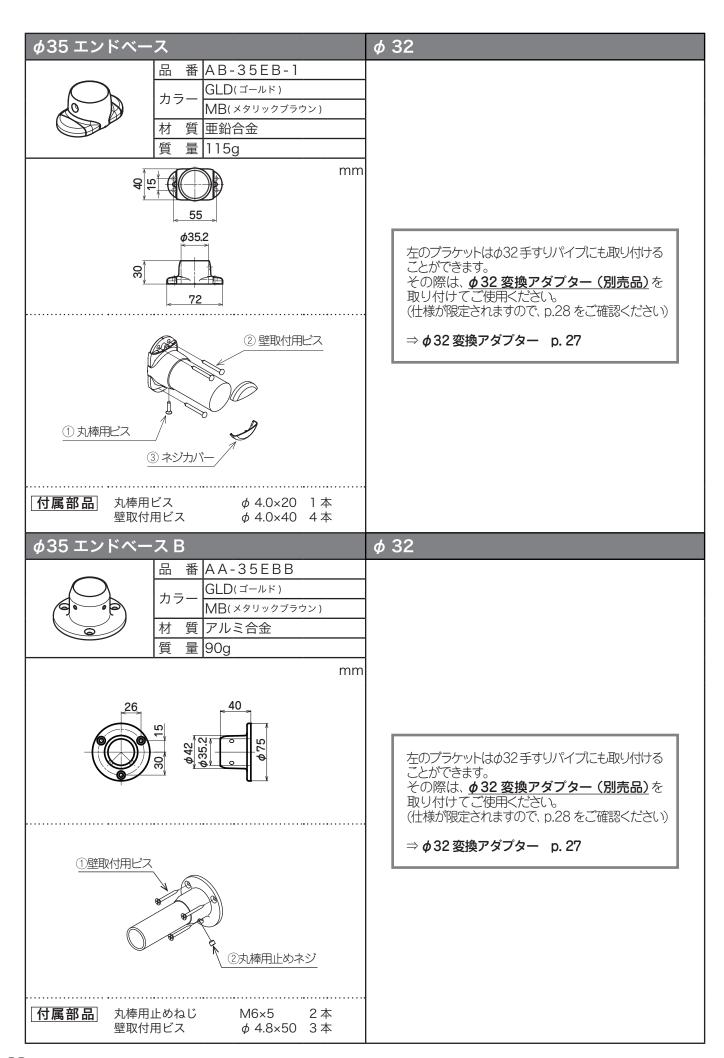


■ ストラップコードは、たるみがないように取り付ける。 ゆるい状態でかしめると、ロックカバーが手すり丸棒から 抜け落ちたり、ストラップコードに指が引っ掛かり危険です。

(手順3) ストラップをロックまで移動させる。



●施工後、手すりがスムーズにはね上げ、はね下ろしできること、ロックが確実にできること、手すり丸棒を持ち上げても、外れないことを確認する。



φ35 自在エンドベース

φ 32

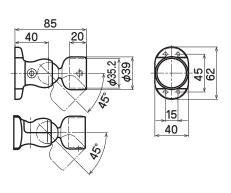


	品 番	AA-35FEB
	カ ラ_	GLD(ゴールド)
	カノー	MB(メタリックブラウン)
ı	11 ==	_ u > ^ ^ / l

材質アルミ合金(カバー:樹脂)

質 量 140g

mm



左のブラケットは ϕ 32手すリパイプにも取り付けることができます。

その際は、*ϕ* **32 変換アダプター (別売品)** を取り付けてご使用ください。

(仕様が限定されますので、p.28 をご確認ください)

⇒ φ32 変換アダプター p. 27

付属部品

丸棒用ビス 壁取付用ビス φ 4.0×20 1本 φ 4.0×40 4本

13 429 HP HH

取付方法

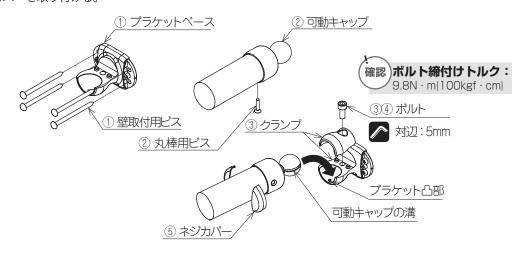
① 壁面に下穴をあけ、ブラケットベースを固定する。

- ② 丸棒を可動キャップに固定する。
- ③ 可動キャップをブラケットとクランプではさみこみ、ボルトで仮締めする。



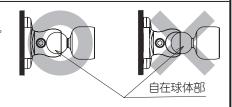
可動キャップの溝を、ブラケットの凸に嵌め込んでください。正しく嵌め込まないと、角度調整がスムーズに行えなくなります。

- ④ 角度を決定し、ボルトを増締めする。
- ⑤ネジカバーを取り付ける。

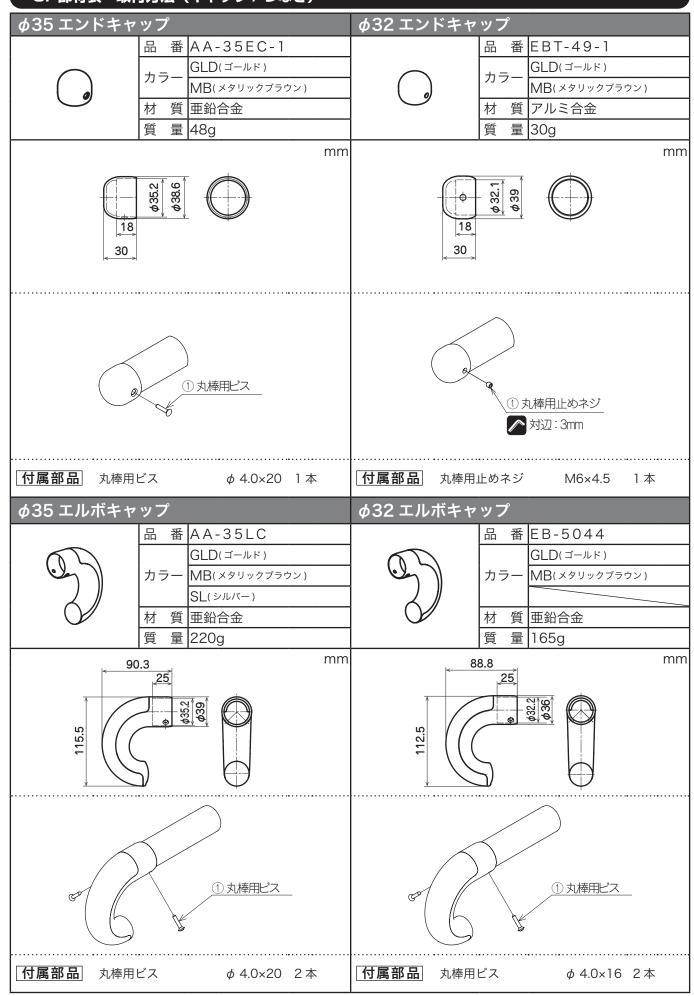


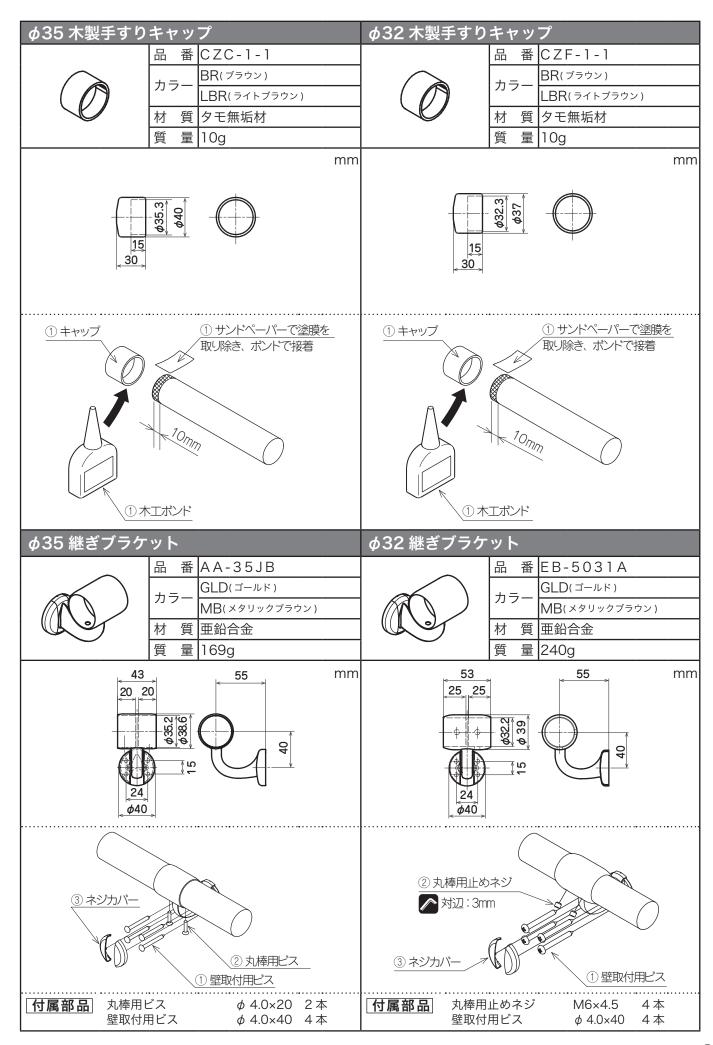
⚠ 注意

- 自在球体部分は、ブラケットとクランプでしっかりはさみ込むこと。 自在エンドベースを使用する場合は、自在エンドベースを基準に施工を開始してください。 他のブラケットを基準とすると、寸法誤差を自在エンドベースで吸収することとなり、 自在球体部分がしっかりとはさみ込めない原因になります。
- 施工後に必ず手すりが回転しないことを確認する。 回転する場合は、再度③からの工程を行ってください。



8. 部材表・取付方法(キャップ/つなぎ)





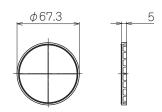
8. 部材表・取付方法(スペーサー)

スペーサー



品	番	E B T - A 5
		GLD(ゴールド)
カラー		MB(メタリックブラウン)
		SL(シルバー)
材	質	樹脂
入	数	10枚
質	量	10g/1 枚

mm



● 対応不可能なブラケット

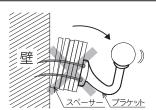
	φ 35 ブ	ラケット	
ED-5024-1	ED-5025-1	ED-5024A	ED-5025A
			0
AB-35CB-1	AA-35CBB	AB-35LWE	AB-35LWC SET
AA-35FWE	AA-35FWC SET	AB-35EB-1	AA-35FEB
	5		
	φ32ブラ	ラケット	
EB-5024-1	EB-5025-1	EB-5024A	EB-5025A
			0
EB-5013C			

スペーサーは4枚まで重ねて使用できます。 (20mmまでの壁の段差に対応できます。)



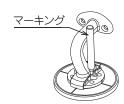
⚠ 注意

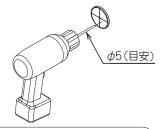
●スペーサーの重ね枚数 は4枚までとする。 5枚以上重ねると強度に 影響が出ます。



取付方法

① スペーサーにブラケットのネジ穴をマーキングし、 ϕ 5 (目安) の下穴をあける。





スペーサーを複数重ねる際は、 両面テープ (厚みの薄いもの)で スペーサー同士を貼りあわせると 作業がしやすくなります。

② ブラケットと共に壁面に固定する。



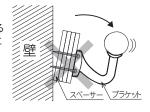
壁取付用ビスは、適正長さのものをご使用ください。

スペーサー	ビス長さの目安
1枚	φ 4.0 × 40(添付のビス)
2枚	φ 4.0 × 45(別途用意)
3枚	φ 4.0 × 50(別途用意)
4枚	φ 4.0 × 55(別途用意)

※上記は目安です。壁の状況により適宜変更してください

■スペーサーを複数重ねる場合は、適宜長いねじに変更する。

ねじが短いとブラケットが 脱落します。



付属部品

9. 丸棒用ビスの取付方法

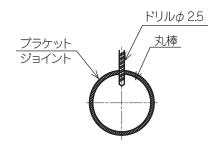
9-1. 丸棒用ビス(φ4.0×20/φ4.0×16)の取付方法(ドリルネジの場合)

① 電動ドリルかインパクトドライバーを使用し、皿穴中央にドリルネジを打ち込む。



9-2. 丸棒用ビス (φ 3.5 × 20) の取付方法 (タッピンネジの場合)

① 皿穴中央に電動ドリルで φ 2.5 の下穴をあける。



② 電動ドリルかインパクトドライバーで下穴にタッピンネジを打ち込む。



10. お手入れ方法

●日常のお手入れ

製品の外観を長持ちさせるため、定期的にお手入れを行ってください。

(1) 汚れの程度が軽い場合

- ①水で濡らした柔らかい布・スポンジで拭く
- ②乾拭きをする

(2) 汚れの程度が酷い場合

- ①中性洗剤を薄めた液をつけた柔らかい布・スポンジで汚れを拭き取る
- ②洗剤が残らないように水拭きをする
- ③乾拭きをする

△ 注意

●酸性・アルカリ性洗剤は使用しない。

錆・変色・変質・塗装の剥がれの原因になります。必ず中性洗剤を使用してください。

●たわし・金属ブラシ・金ベラ・スチールウールなどは使用しない。

キズがつくと汚れが溜まりやすくなり、腐食・変質の原因となります。



●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤や石油類を 使用しない。

錆・変色・変質・塗装の剥がれの原因になります。



●直接水をかけて洗わない。

腐食や変質の原因となります。

●点検

製品を安全にご使用いただくため、定期的に点検を行ってください。

<u></u> 注意



●定期的に手すりの点検・確認をする。

定期的に手すりのガタつきやネジのゆるみなどの異常がないことを確認してください。 異常が発生した場合は、直ちに使用を止め、工事を行った施工業者にご相談ください。

●消毒方法

- ・アルコール清拭消毒、逆性石鹸清拭消毒などを推奨します。 この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
- ・次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合、次亜塩素酸ナトリウム 6% 水溶液を 120 ~ 300 倍に希釈して清拭し、 仕上げに水拭きしてください。

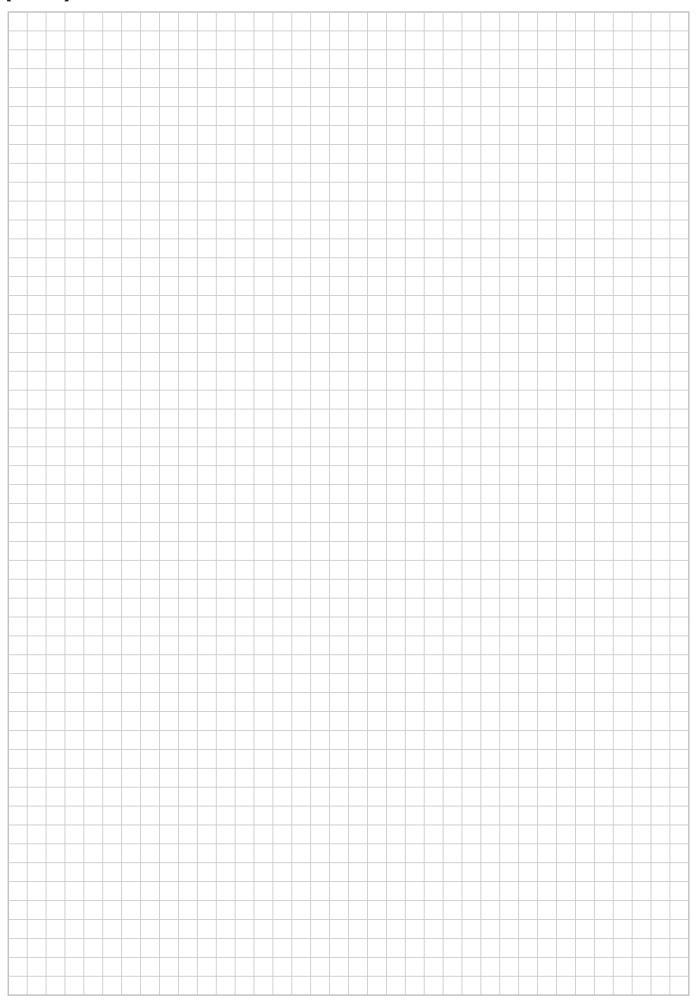
△ 注意



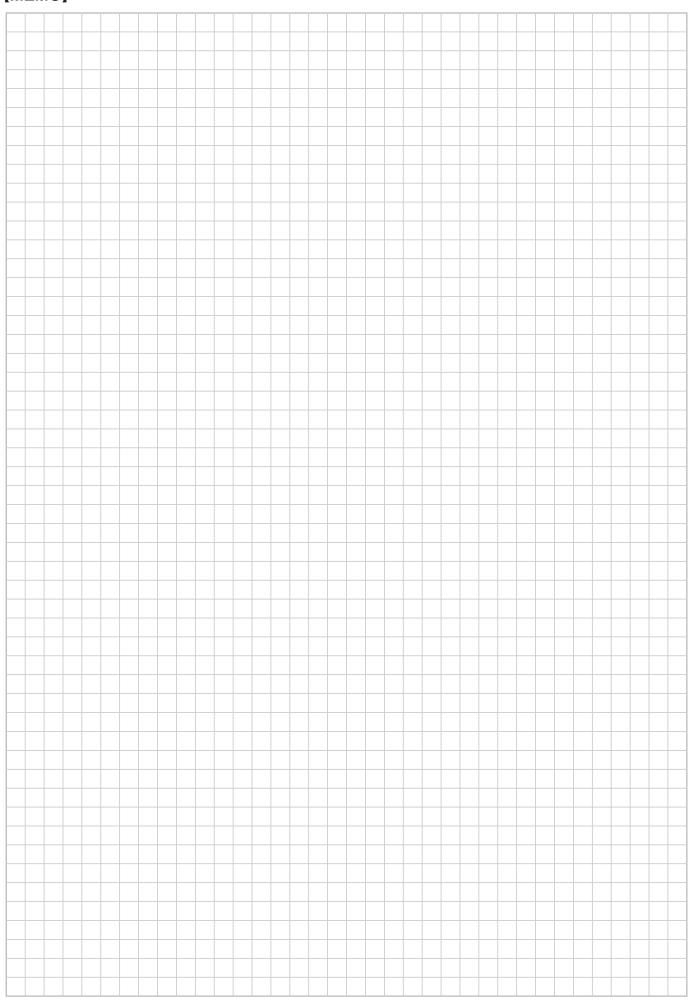
●塩素系の薬品が付着した時は水拭きをし、製品表面に薬品が残らないようにする。

錆・変色・変質・塗装の剥がれの原因になります。

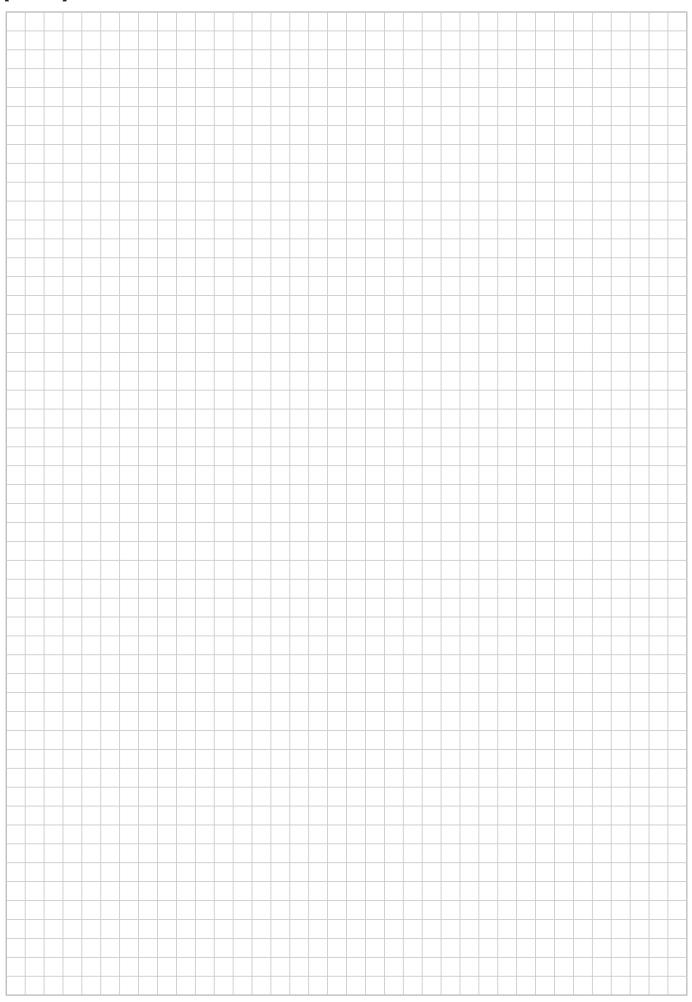
[MEMO]



[MEMO]



[MEMO]



※製品の仕様等は、予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

◆ 矢崎化工株式会社

■本 〒 422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1 社

- ■北海道支店 福祉介護機器課 〒 072-0007 北海道美唄市東 6 条北 8-2-1 TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459
- ■神奈川支店 福祉介護機器課 〒 257-0024 神奈川県秦野市名古木 3-4 TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316 TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988
- 広島支店 福祉介護機器課
- 仙 台 支 店 福祉介護機器課 〒 981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280 TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099
- 静岡支店 福祉介護機器課 〒 422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1
- 九州支店 福祉介護機器課 〒738-0042 広島県廿日市市地御前1-7-17 〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1 TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890 TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026

介護支援ペー Kaigo-web http://www.kaigo-web.info/

■ 関東支店 福祉介護機器課 〒 373-0823 群馬県太田市西矢島町 88 TEL 0276(38)1511 FAX 0276(38)3522

- ■名古屋支店 福祉介護機器課 〒 484-0963 愛知県犬山市字鶴池 48-2 TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219
- 東京支店 福祉介護機器課 〒 359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3 TEL 04(2944)7113 FAX 04(2944)7007
- 大阪支店 福祉介護機器課 〒 569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1 TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

16042303

DE-195-15